

「茨城県がん患者の就労に関する実態調査」
報告書

茨城県
平成27年2月

はじめに

がん医療技術の進歩や新薬の開発に伴い、日本の全がんの5年相対生存率は確実に上昇傾向にあり、がん患者・経験者の中には、社会で活躍している者が増えてきています。

一方、県民のがん患者数のうち、20歳～64歳までの占める割合は、33パーセント(茨城県地域がん登録事業報告書(平成23年罹患集計))となっており、約3人に1人は就労可能な年齢で罹患しております。

このような中、がん患者の中には就労を含めた社会的な問題に直面している人も多く、治療と就労の両立など、がん患者の就労支援が課題となってきています。

茨城県においては、平成25年度から5か年を計画期間とする「茨城県総合がん対策推進計画―第三次計画―」を策定し、がん患者の就労支援を含めた生活支援体制の整備を重点課題として位置づけております。

このたび、がん患者・家族が抱える就労に関するニーズや課題を把握し、がん患者の就労支援に向けた施策を検討するため、茨城県地域がんセンターを併設する4か所の病院で治療を行っているがん患者を対象に、罹患後の仕事への影響などについて実態調査を実施し、その結果を取りまとめました。

なお、本実態調査の実施にあたっては、『「治療と就労の両立に関するアンケート調査」結果報告書』(厚生労働省がん臨床研究事業「働くがん患者と家族に向けた包括的就業支援システムの構築に関する研究」班 研究代表者 高橋都)を参考としました。

最後に、本調査を実施するにあたり多大なるご協力をいただきました、がん患者・家族の皆様、茨城県立中央病院、総合病院土浦協同病院、筑波メディカルセンター病院、(株)日立製作所日立総合病院の皆様をはじめ、貴重な御意見をいただきました研究協力機関等の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成27年2月

茨城県保健福祉部保健予防課長 入江 ふじこ

目次

はじめに	
I. 概要.....	1
II. 回答者の属性及び背景.....	2
III. 調査結果の概要.....	1 1
(1) 診断時と現在における就労状況の変化.....	1 1
(2) がんと診断されてから現在までの働き方の変化.....	1 2
(3) 退職や異動の経緯について.....	1 2
(4) 退職や異動は病気の影響と思うか.....	1 3
(5) 退職や異動について納得しているか.....	1 3
(6) 患者本人の治療の見通し.....	1 4
(7) 主治医への相談の有無と今後の就労の見通し.....	1 4
(8) 転移の有無と就労の継続について.....	1 5
(9) 就労に関する悩みについて職場の上司への相談.....	1 5
(10) 職場の理解について.....	1 6
(11) 職場における産業医の有無と就労継続について.....	1 6
(12) 就労に関する問題の相談相手について.....	1 7
(13) 病院のがん相談支援センターへの就労に関する相談.....	1 7
IV. 集計結果.....	1 8
V. 参考資料.....	4 5

I. 概要

がん患者の就労に関するアンケート調査

1 目的

がん医療技術の進歩や新薬の開発に伴い、日本の全がんの5年相対生存率は年々、上昇傾向にあり、がん患者・経験者の中には、社会で活躍している者が増えてきている。このような中、がん患者の中には、就労を含めた社会的な問題に直面している者も多いとされている。

このため、がん罹患後の就労に関する状況やニーズ、課題を把握し、今後の就労支援に関する施策の検討等に活用する。

2 調査方法

調査対象	<ul style="list-style-type: none">・茨城県地域がんセンターを併設する4か所の病院*において、主に化学療法及び放射線治療のため外来で通院しているがん患者で、がんの告知を受けている者。・対象年齢は20歳以上、65歳未満。・1病院あたりの配付数は200人以内とし、4病院合計で800人以内。 <p>※：茨城県立中央病院，総合病院土浦協同病院，筑波メディカルセンター病院，(株)日立製作所日立総合病院</p>
調査方法	<ul style="list-style-type: none">・4か所の地域がんセンターにおいて、調査対象者に対して、医師または看護師等が概要説明の上、自記式（無記名）調査票を配付。・返信用封筒による郵送回収。
調査期間	平成26年2月26日～平成26年11月30日
調査項目	診断前後の就労状況の変化，退院時における就労生活設計見通しの有無，退職・異動の経緯，就労相談先など。
回収状況	499/758件（回収率65.8%） うち有効回答461件

II. 回答者の属性及び背景

(1) 性別

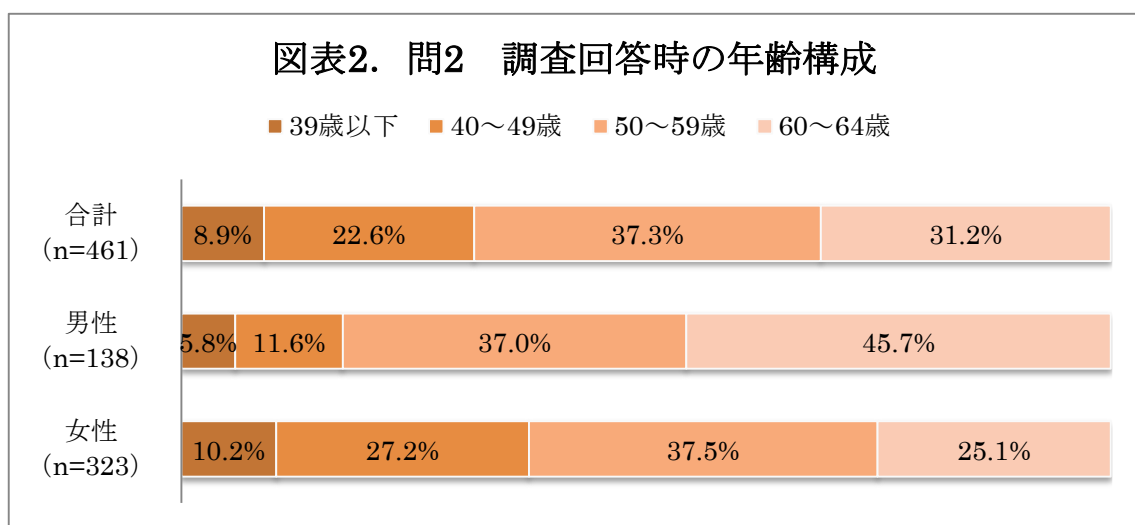
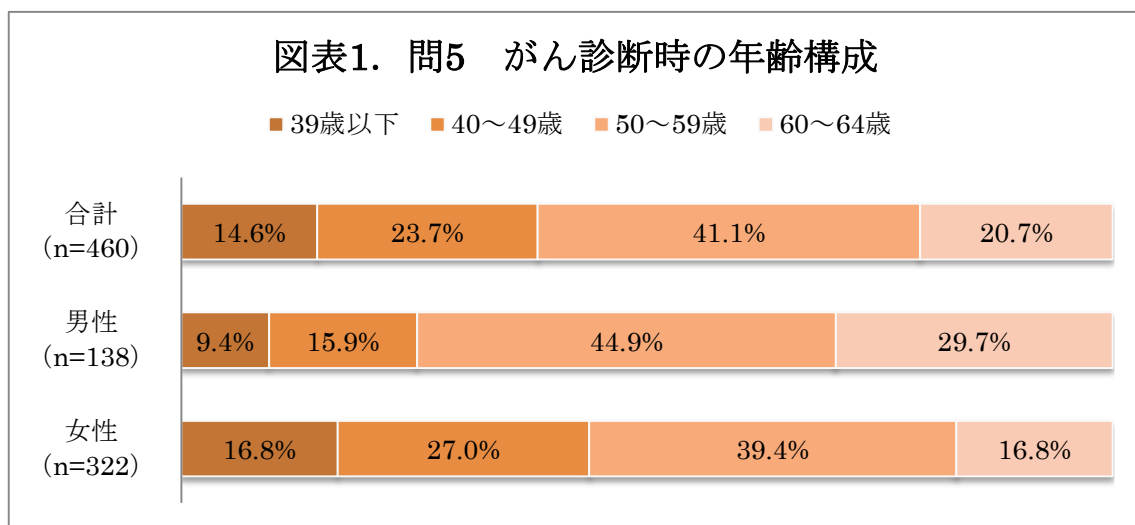
○有効回答者（全 461 件）の属性は、男性が 29.9%、女性が 70.1%であり、女性が多かった。

(2) 年齢

ア 年齢構成について

○がん診断時の年齢は、「39歳以下」が 14.6%、「40～49歳」が 23.7%、「50～59歳」が 41.1%、「60～64歳」が 20.7%で、平均年齢は 51.0 歳であった。

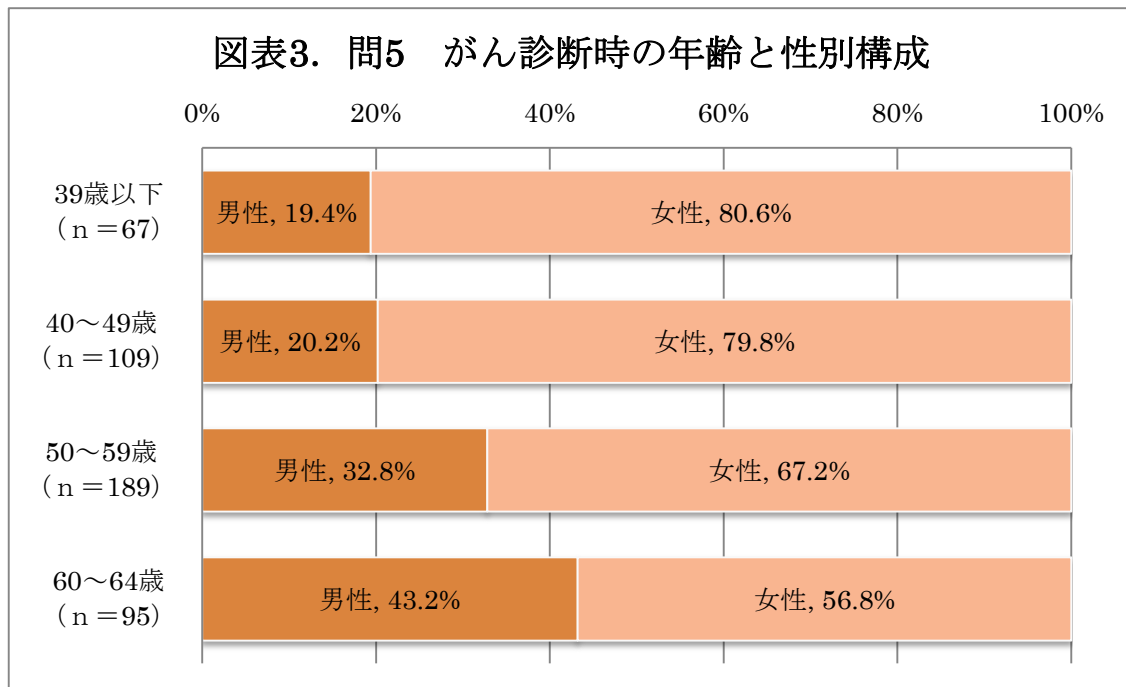
○調査回答時の年齢は、「50歳代」が 37.3%、「60～64歳」が 31.2%で、平均年齢は 53.3 歳であった。がん診断時から平均 2～3 年経過している状況であった。



※図表の中の設問番号は、「患者図書室がある病院用」の調査票の設問番号に合わせております。以下同様。

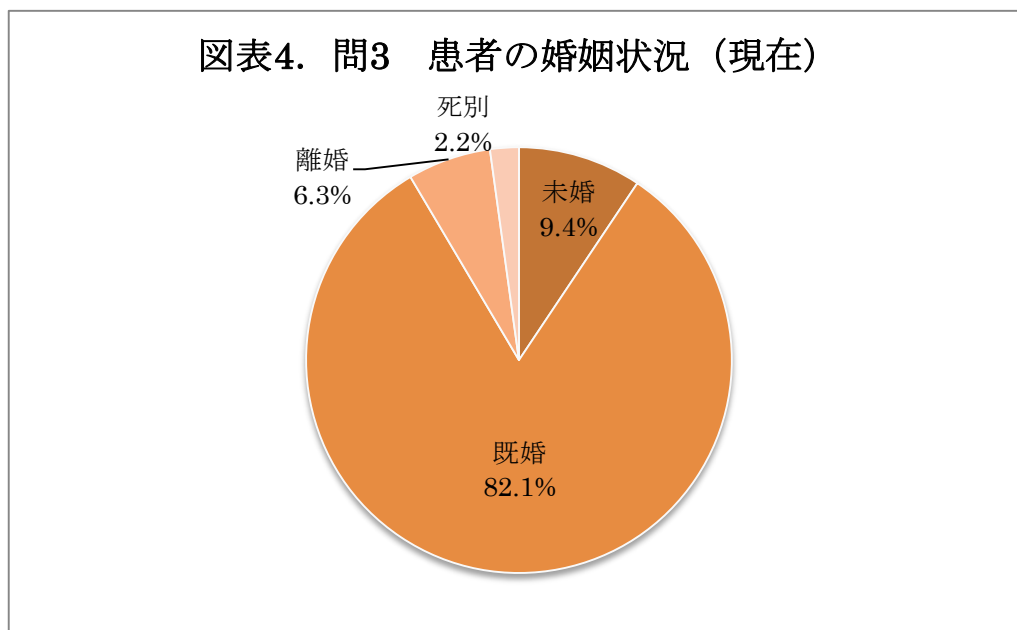
イ がん診断時の年齢と性別構成について (n=460)

○男性に比べて、女性の方が、がん診断時の年齢は低い傾向が見られた。



(3) 患者の婚姻状況 (現在) (n=458)

○既婚者が82.1%であった。

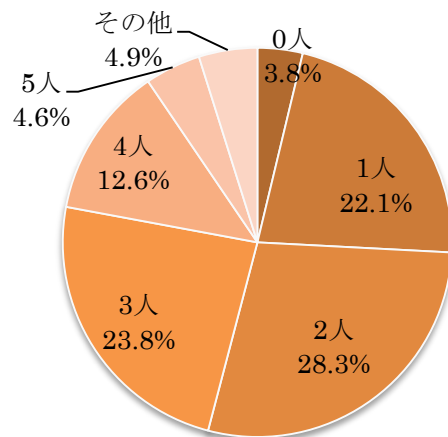


(4) がん診断時の家族構成

ア 同居人数（本人以外）（n=453）

○同居人数（本人以外）は、多い順に、「2人」が28.3%、「3人」が23.8%、「1人」が22.1%であった。

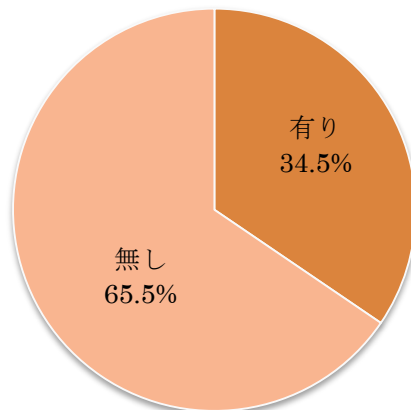
図表5. 問7 同居人数（本人以外）



イ 扶養家族（患者が生活の面倒をみななければならない家族）の有無（n=455）

○扶養家族「有り」が34.5%であった。

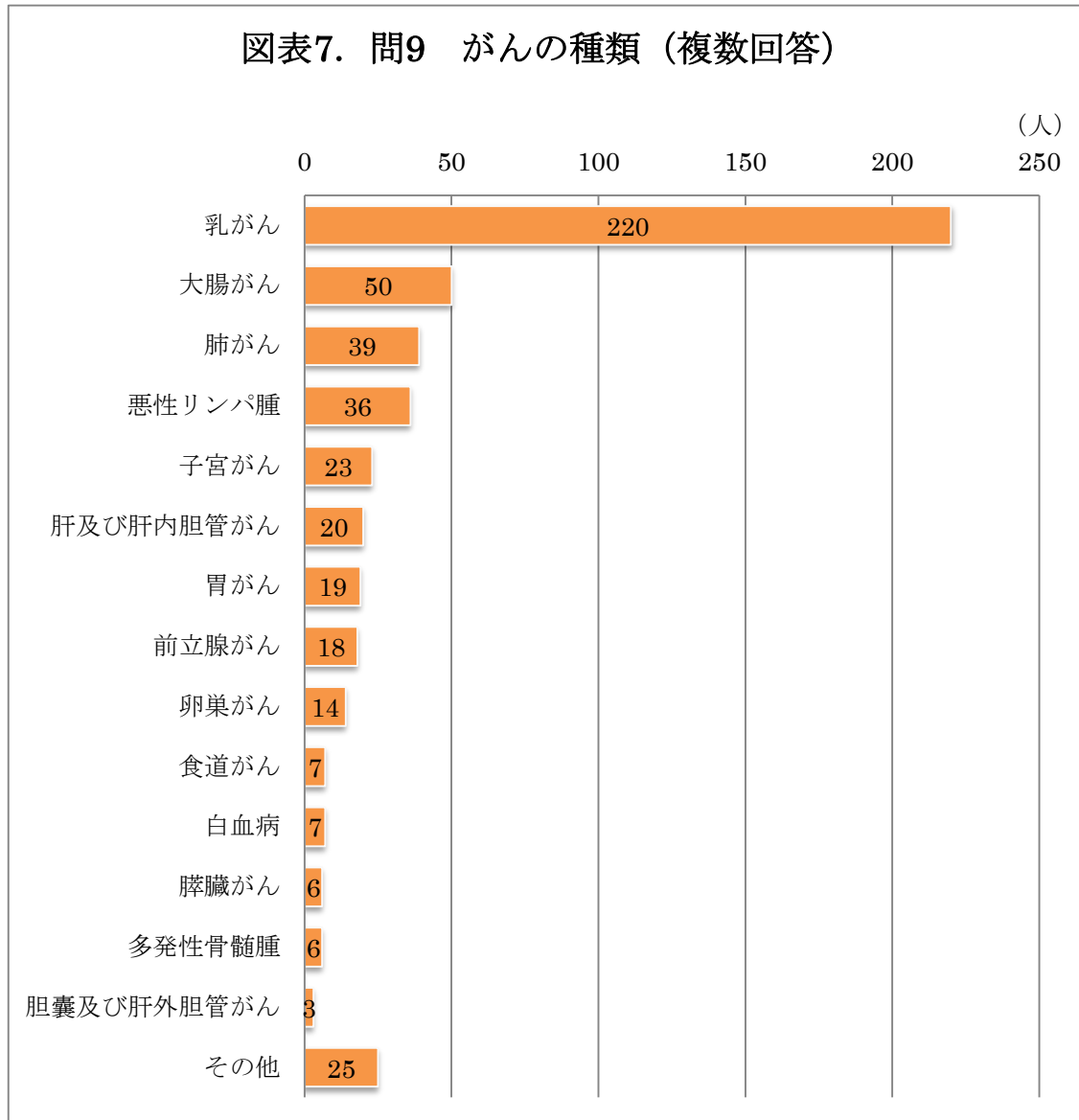
図表6. 問8 扶養家族の有無



(5) がんの種類

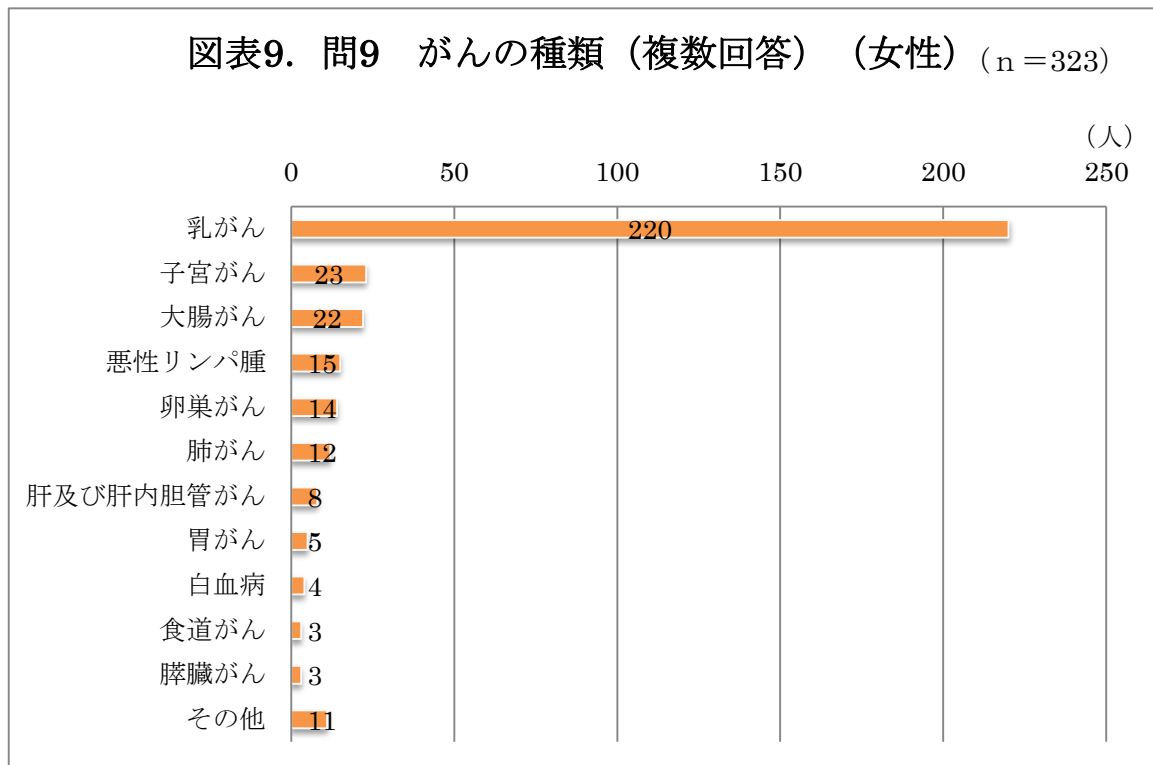
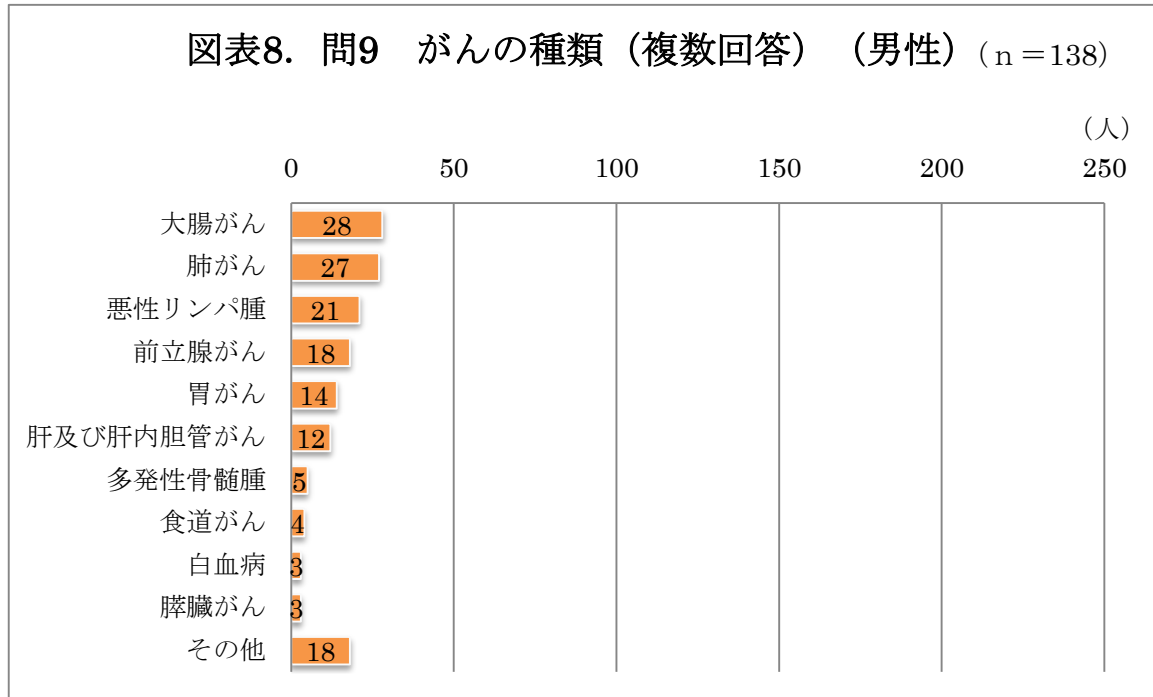
ア がんの種類（複数回答）について（n=461）

○がんの種類は、多い順に、「乳がん」が220人、「大腸がん」が50人、「肺がん」が39人であった。



○男性は、「大腸がん」が28人、「肺がん」が27人の順に多く、次いで「悪性リンパ腫」が21人であった。

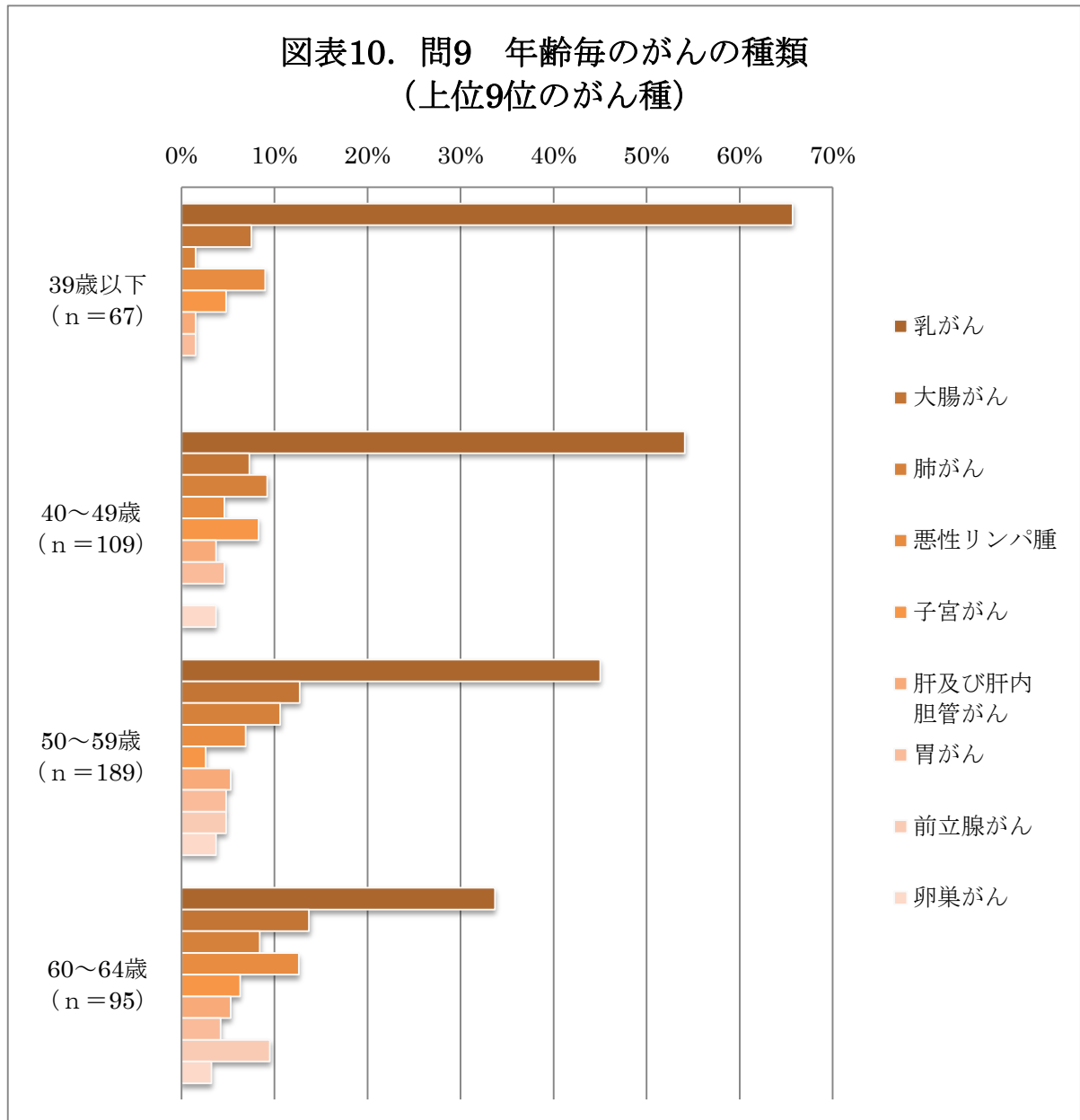
○女性は、「乳がん」が220人と多く、次いで「子宮がん」が23人、「大腸がん」が22人であった。



イ 年齢毎のがんの種類（複数回答）について

○若い年代ほど、「乳がん」患者の割合が高かった。

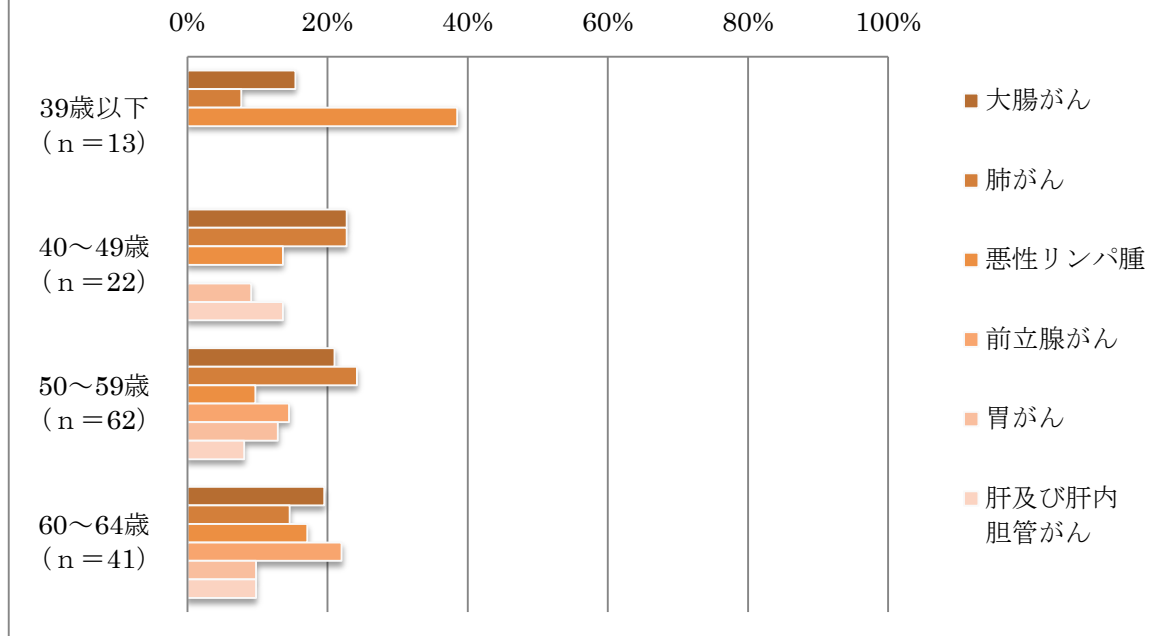
○50～59歳や60～64歳のがん患者では、若い年代と比較して、「大腸がん」、「肺がん」、「前立腺がん」が多かった。



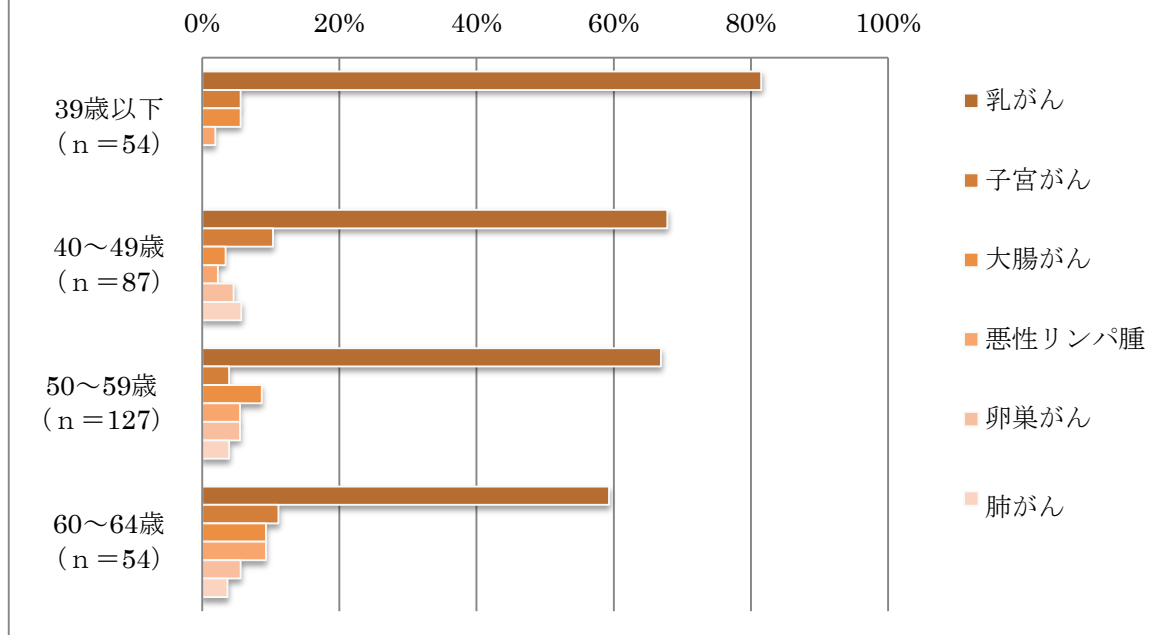
○男性は、年齢の上昇に伴い「前立腺がん」が増加する傾向があった。

○女性は、年齢の上昇に伴い「乳がん」が減少し、「肺がん」が増加する傾向があった。

図表11. 問9 年齢毎のがんの種類（男性）
（上位6位のがん種）

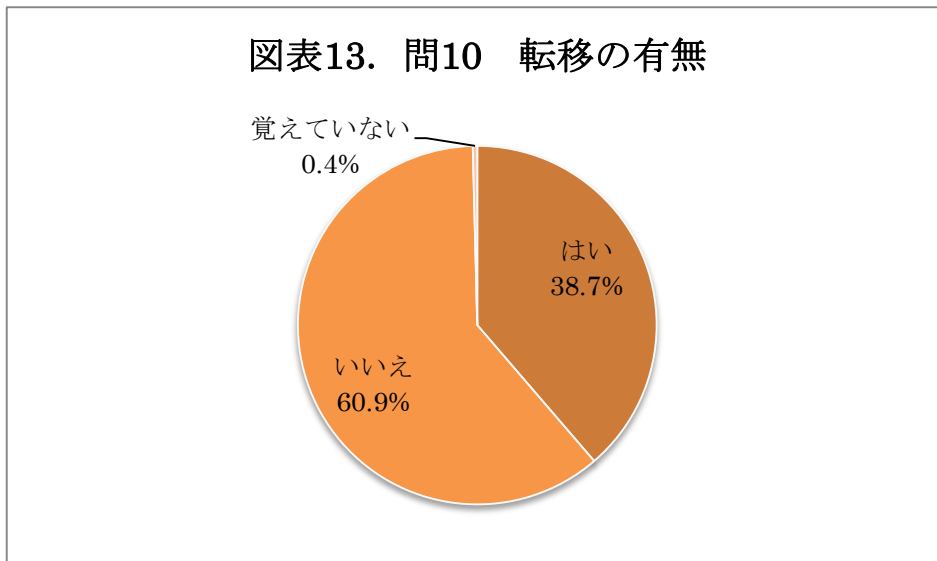


図表12. 問9 年齢毎のがんの種類（女性）
（上位6位のがん種）



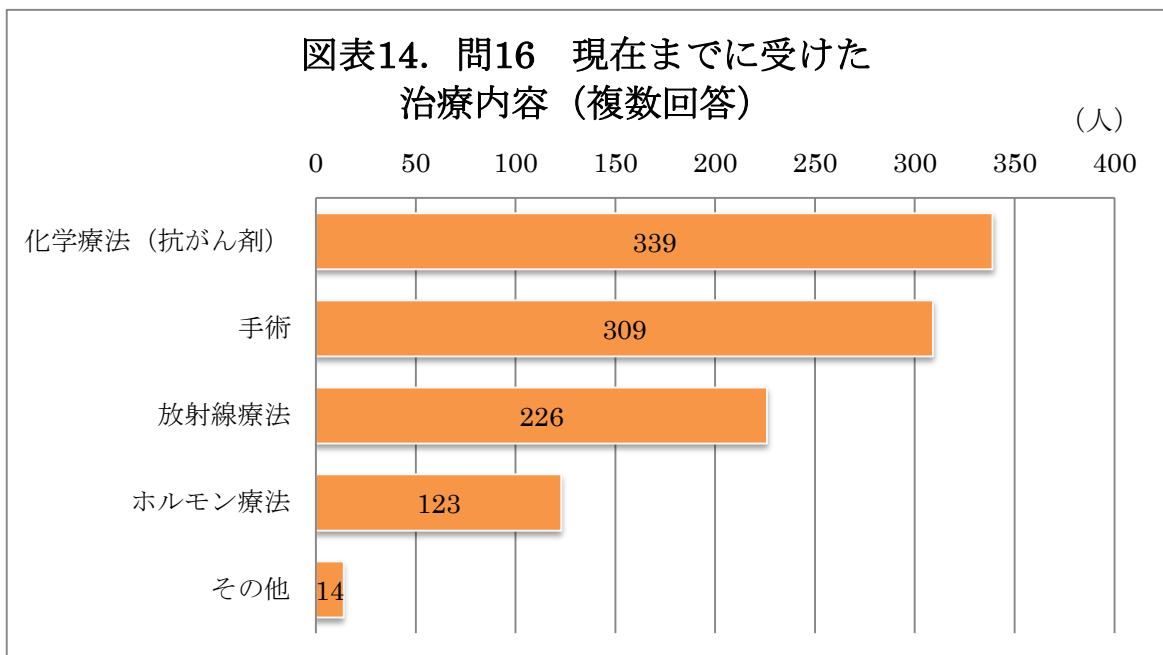
(6) 転移の有無 (n=445)

○「転移がある」と診断を受けた人が 38.7%, 受けなかった人が 60.9%であった。



(7) がん治療として現在までに受けた治療内容 (複数回答) (n=461)

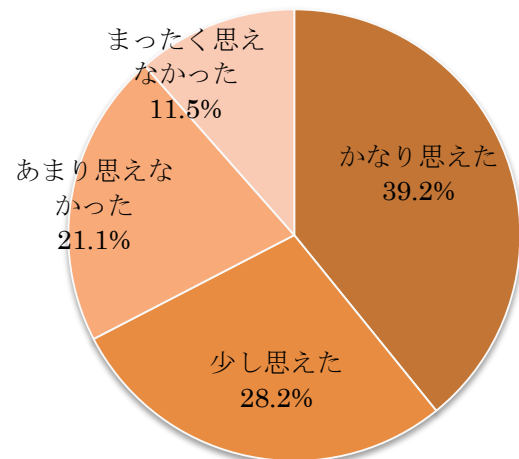
○「化学療法 (抗がん剤)」を受けた人が 339 人, 「手術」が 309 人, 「放射線療法」が 226 人であった。



(8) 退院時に、今後働きつづけられると思えたか。(n=365)

○「かなり思えた」、「少し思えた」という回答が、約67%を占めた。

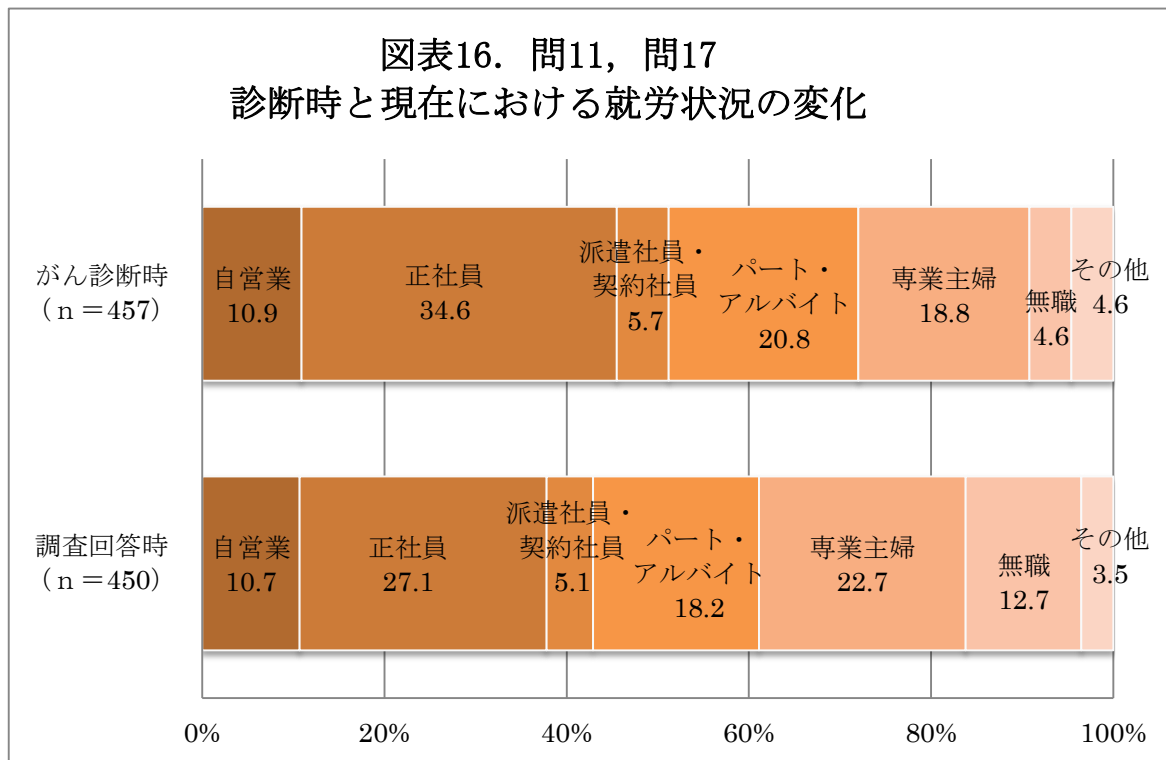
図表15. 問14-1
今後働きつづけられると思えたか



Ⅲ. 調査結果の概要

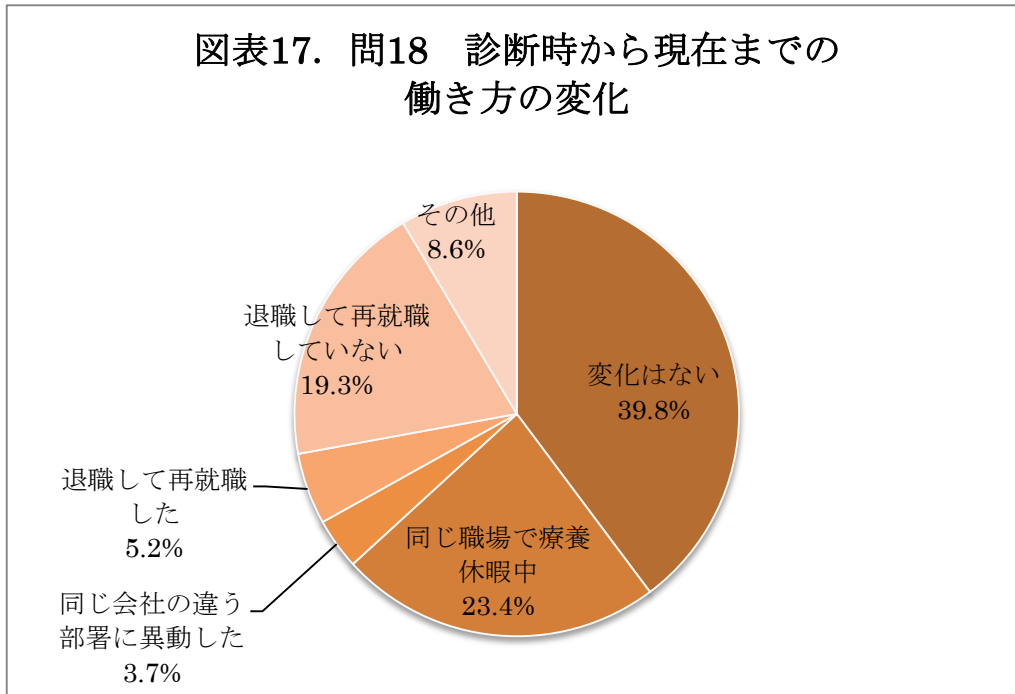
(1) 診断時と現在における就労状況の変化

○正社員が 7.5 ポイント減少し、無職が 8.1 ポイント増加している。



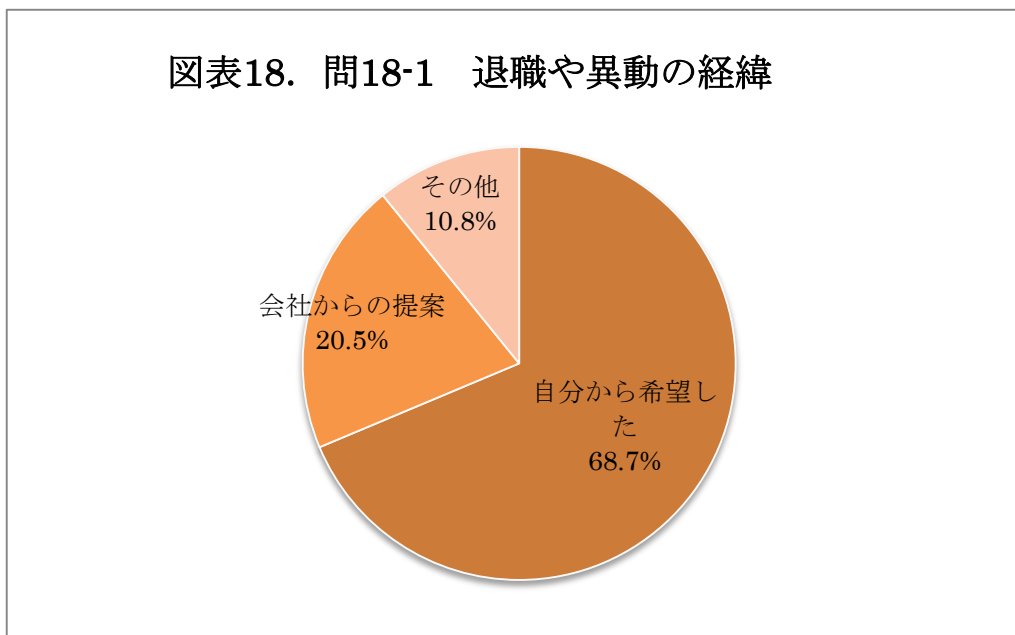
- (2) がんと診断された時から現在までの間に、働き方に変化はあったか。(n=269)
 (がん診断時に就労していた人に対して)
 ○診断時に働いていた人の約25%が退職していた。

図表17. 問18 診断時から現在までの働き方の変化



- (3) 退職や異動の経緯について (n=83)
 (会社を退職した、または別部署に異動した人に対して)
 ○会社からの提案による退職や異動が20.5%であった。

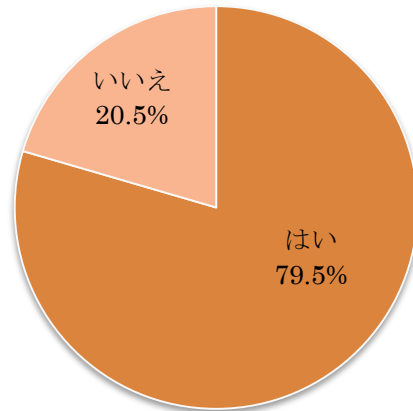
図表18. 問18-1 退職や異動の経緯



(4) 退職や異動は病気の影響と思うか。(n=83)

○退職や異動は、病気の影響と思う人が79.5%，そう思わない人が20.5%であった。

図表19. 問18-2 退職や異動は病気の影響
と思うか

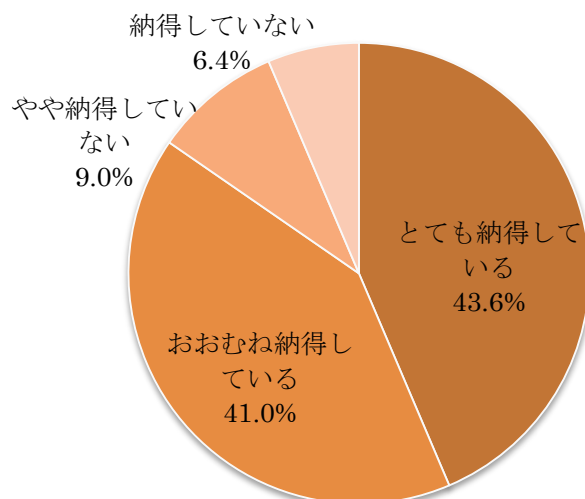


(5) 退職や異動について納得しているか。(n=78)

○「とても納得している」，「おおむね納得している」という回答が合わせて，84.6%であった。

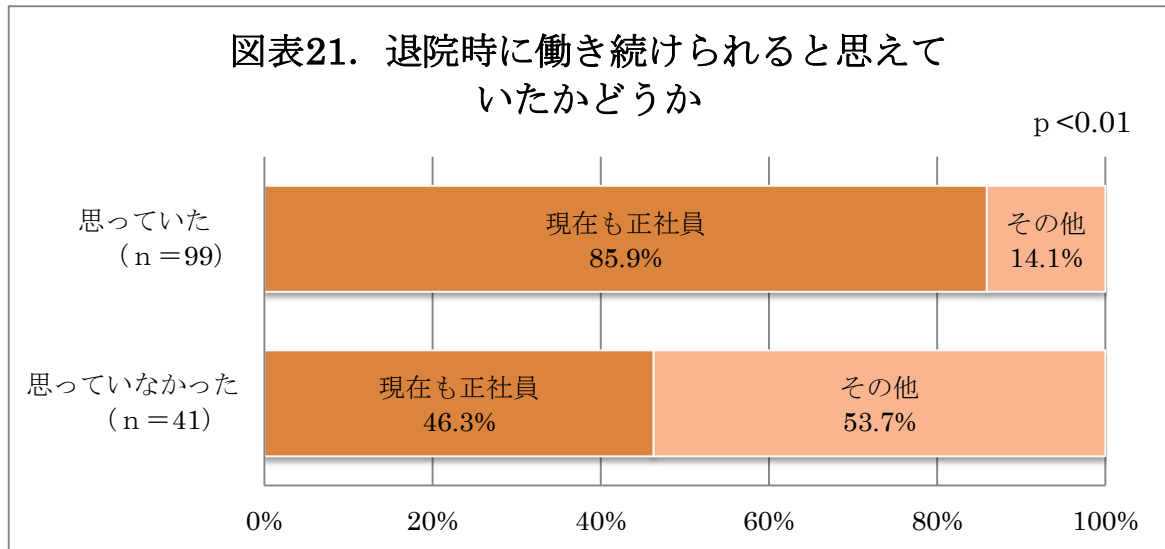
○他方，「やや納得していない」，「納得していない」が合わせて，15.4%であった。

図表20. 問18-3 退職や異動への納得について



(6) 患者本人の治療の見通しについて

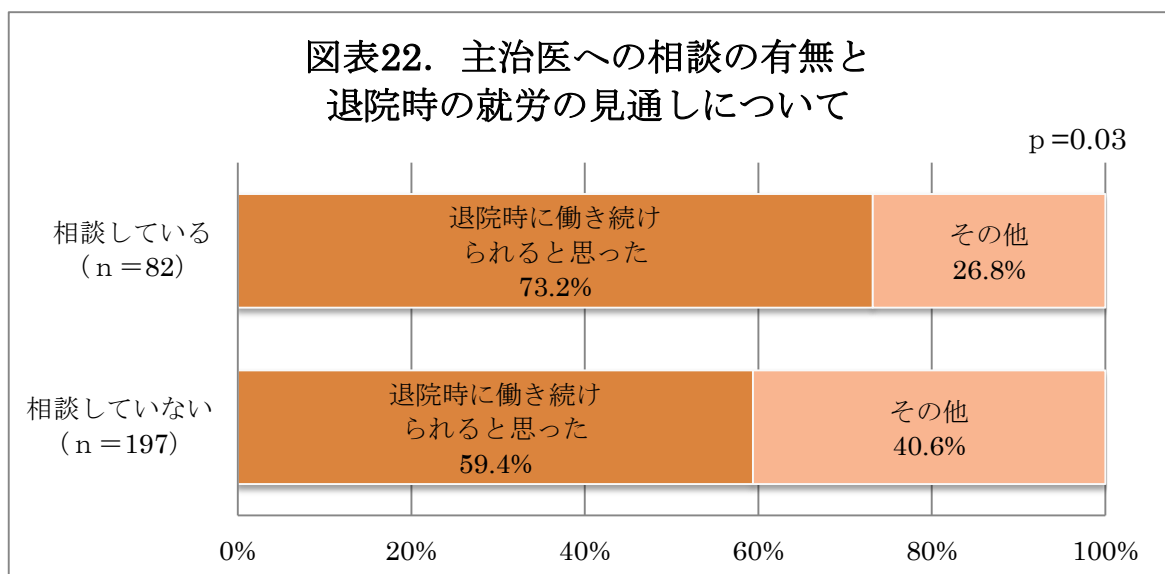
- 診断時に正社員であった人について、退院時に、今後働き続けられると思っていた人の方がそうでない人よりも、現在も正社員である人の割合が高かった。
- 患者本人が、今後の治療の見通しを立てられることは、就労継続に良い影響を与えている可能性がある。



※ p 値はカイ 2 乗検定による

(7) 主治医への相談の有無と今後の就労の見通しについて

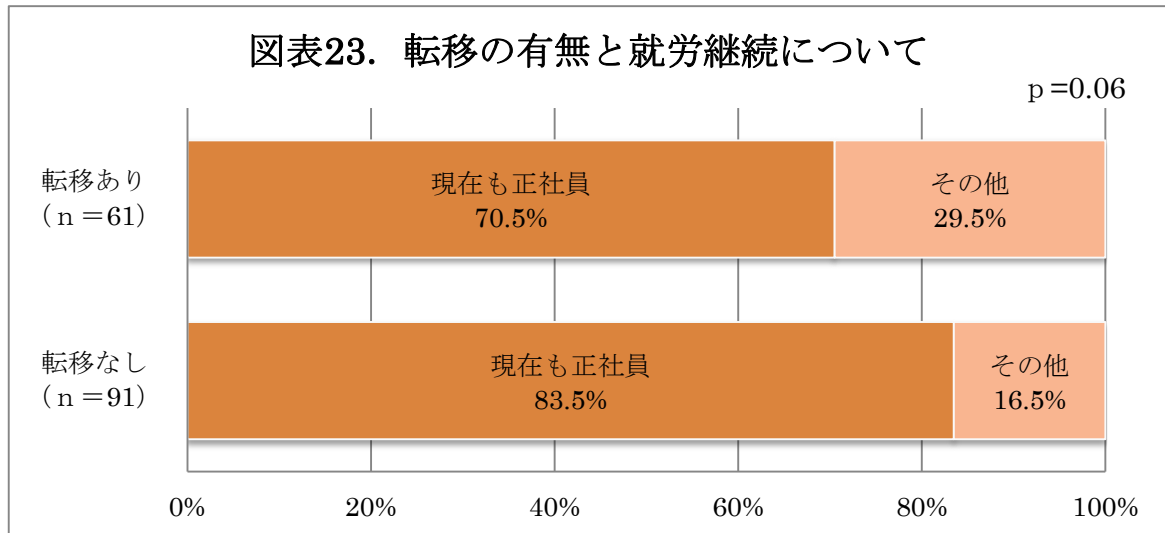
- 診断時に就労していた人について、就労に関して主治医に相談している人の方がそうでない人よりも、退院時に、今後働き続けられると思った人の割合が高かった。
- 主治医から何らかの就労に関する説明を受けると、患者本人が今後の就労の見通しを立てられることに良い影響を与える可能性がある。



※ p 値はカイ 2 乗検定による

(8) 転移の有無と就労の継続について

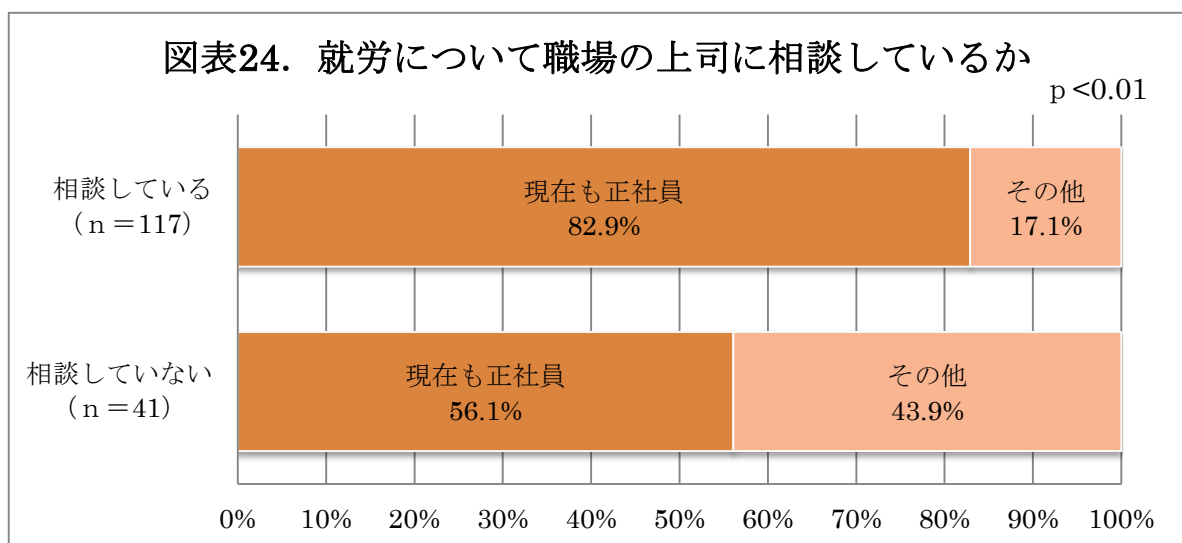
- 診断時に正社員であった人について、転移がある人の方がそうでない人よりも、現在も正社員でいる人の割合が低かった。
- 転移がある人は、就労継続が困難な要因を抱えていることが推測され、就労支援について、より能動的な働きかけが必要と思われる。



※ p 値はカイ 2 乗検定による

(9) 就労に関する悩みについて職場の上司に相談しているか。

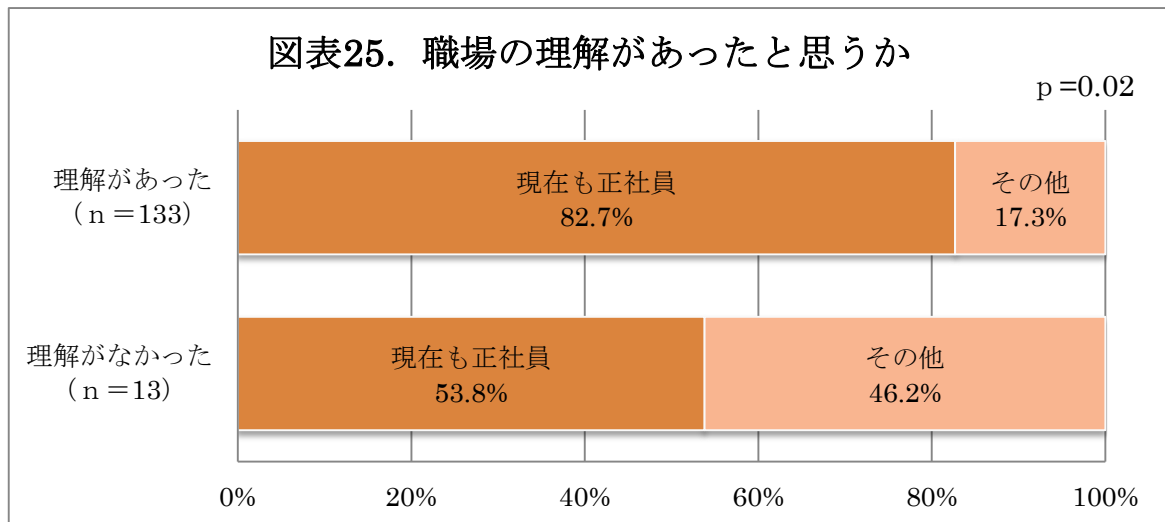
- 診断時に正社員であった人について、就労に関する悩みを職場の上司へ相談している人の方がそうでない人よりも、現在も正社員である人の割合が高かった。
- 職場の上司との良好なコミュニケーションが、就労継続に有効である可能性がある。
- 職場の上司への研修や啓発は、就労継続に有効であると推測される。



※ p 値はカイ 2 乗検定による

(10) 職場の理解について

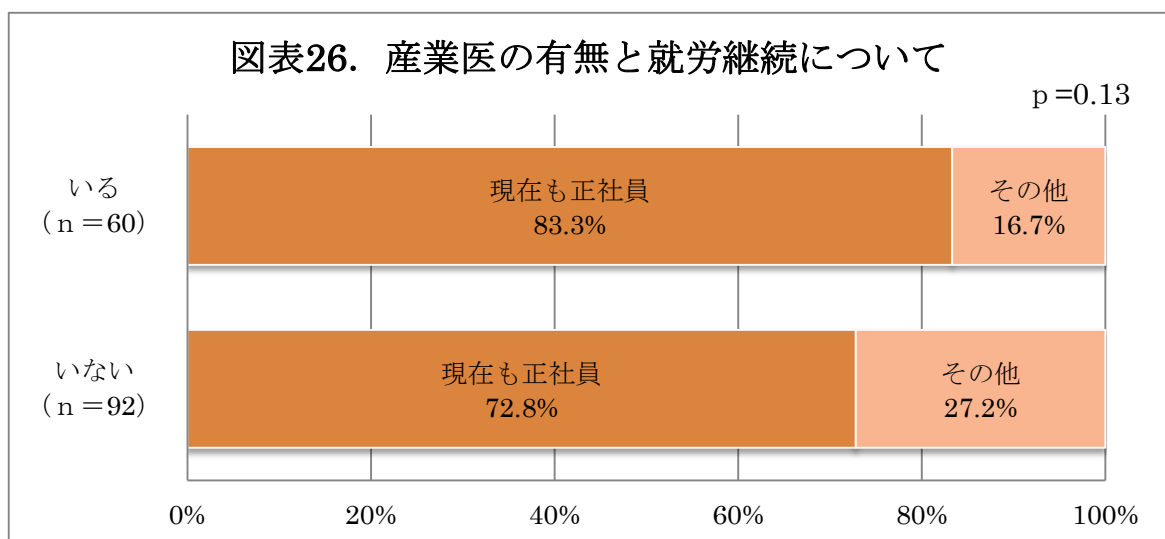
- 診断時に正社員であった人について、職場の理解があったと考えている人の方がそうでない人よりも、現在も正社員である人の割合が高かった。
- 職場における理解や社内風土づくりが就労継続に効果があることが推測され、職場への研修が重要であると考えられる。



※ p 値は Fisher の正確な検定による

(11) 職場における産業医の有無と就労継続について

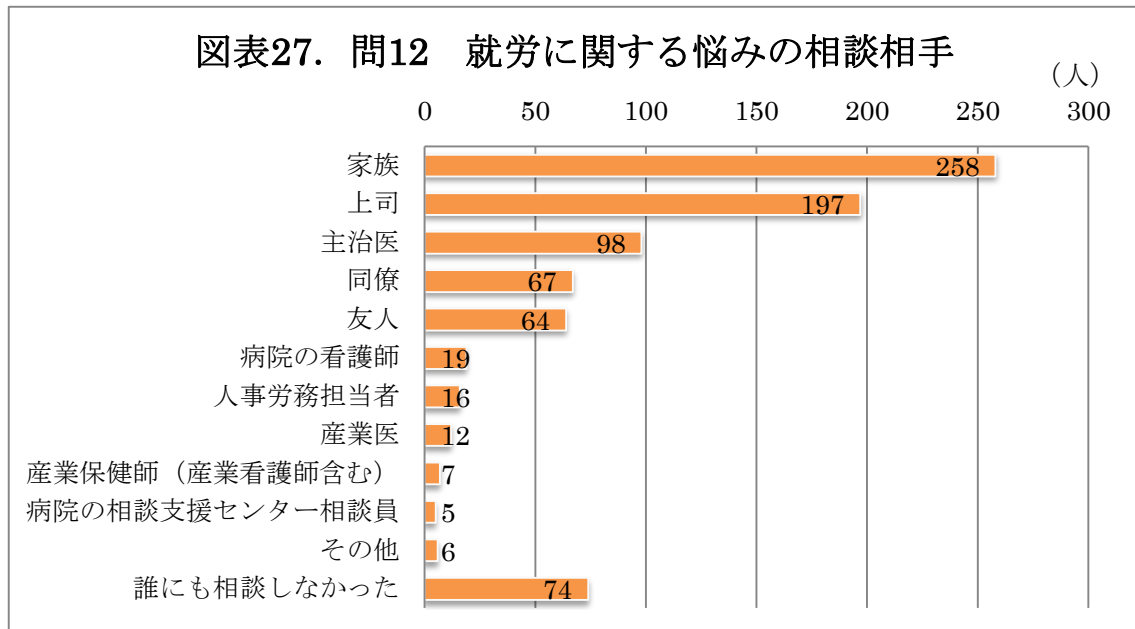
- 診断時に正社員であった人について、職場に産業医（非常勤を含む）がいた人の方がそうでない人よりも、現在も正社員である人の割合がやや高かった。
- 職場に産業医（非常勤を含む）がいることは、がん患者の就労継続に良い影響を与える可能性がある。



※ p 値はカイ 2 乗検定による

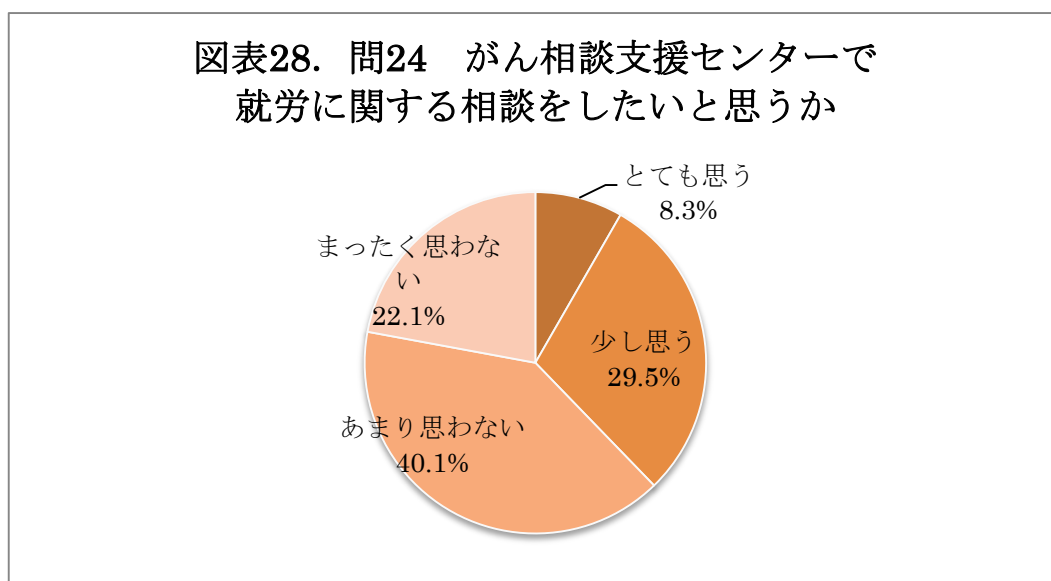
(12) 就労に関する問題の相談相手について (n=461)

- 会社関係では, 上司に対する相談は多いが, 人事労務担当者に対する相談は少ない。
- 病院関係では, 相談支援センター相談員に対する相談は少ない。
- 就労に関する相談先として, がん診療連携拠点病院のがん相談支援センターも活用できることを, がん患者に対して周知することが必要である。



(13) 病院のがん相談支援センターで就労に関する相談をしたいと思うか。(n=421)

- 「がん相談支援センターで就労に関する相談をしたいと思う」と回答した人は, 「とても思う」, 「少し思う」を合わせると, 37.8%を占める。
- がん相談支援センターにおける就労相談へのニーズはあると考えられる。

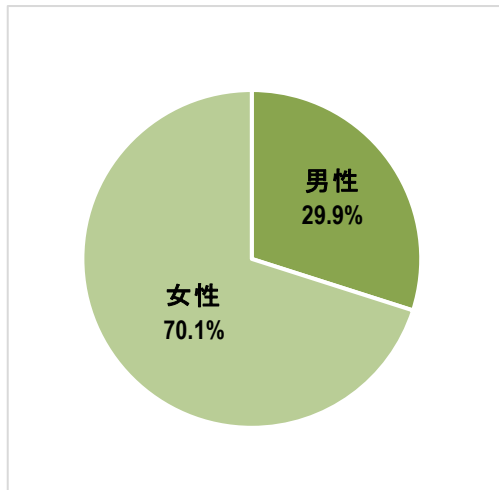


IV. 集計結果

がん患者の就労に関するアンケート(結果)

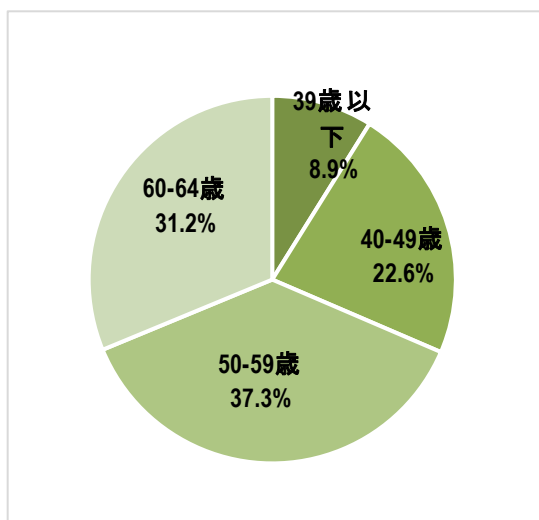
【 患者自身について 】

問1. 患者の性別(n=461)



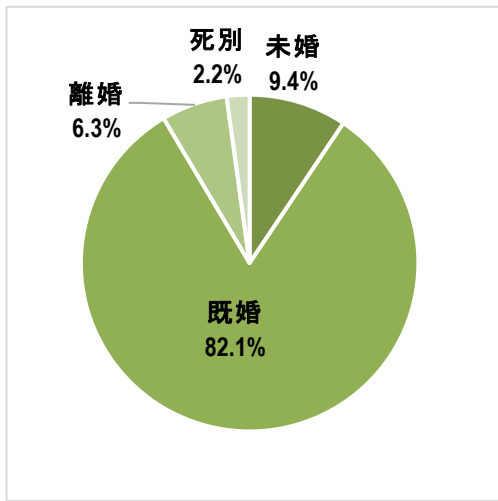
性別	人数
男性	138
女性	323
合計	461

問2. 患者の現在の年齢(調査回答時年齢) (n=461)



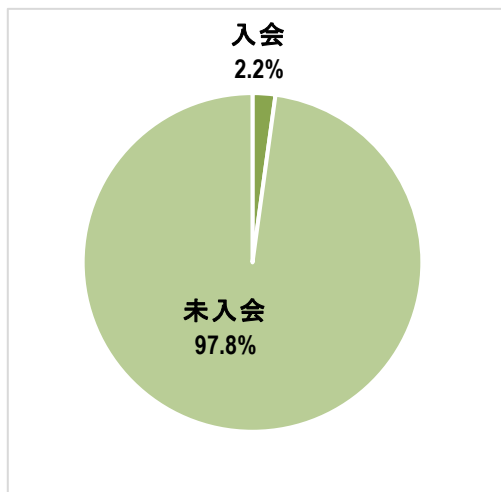
年齢	人数
39歳以下	41
40-49歳	104
50-59歳	172
60-64歳	144
合計	461

問3. 患者の現在の婚姻状況 (n=458)



婚姻状況	人数
未婚	43
既婚	376
離婚	29
死別	10
合計	458

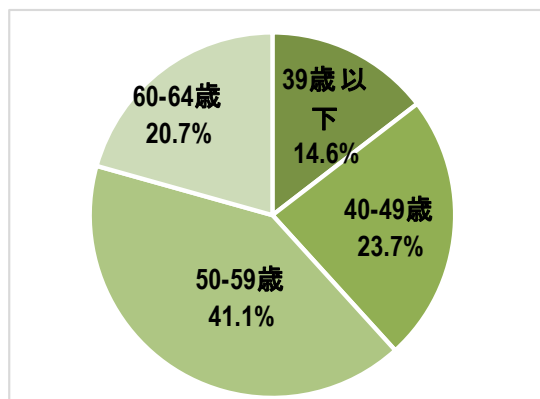
問4. 患者会の入会状況 (n=461)



入会状況	人数
入会	10
未入会	451
合計	461

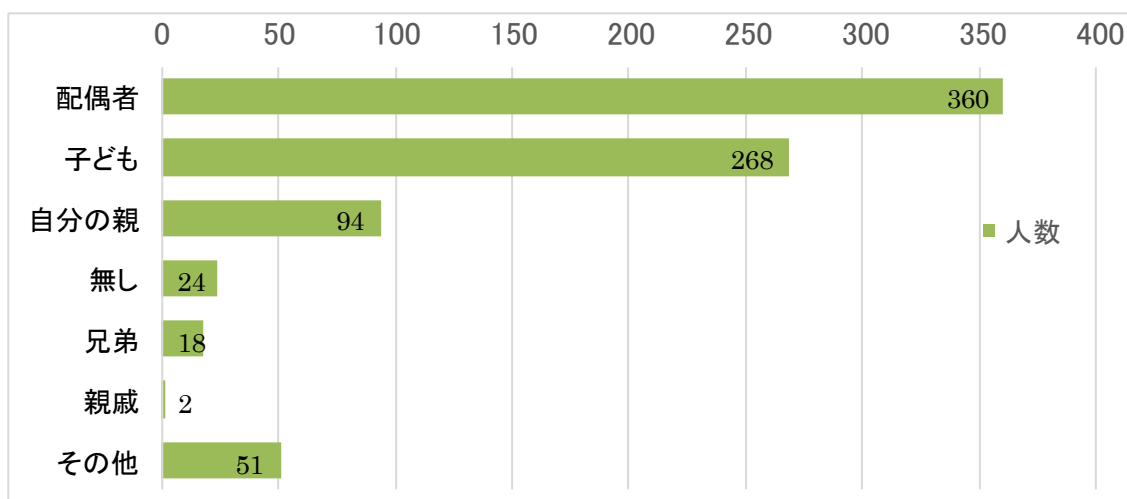
【 がんと診断された時の状況について 】

問5. 患者の診断時の年齢(当時の年齢) (n=460)



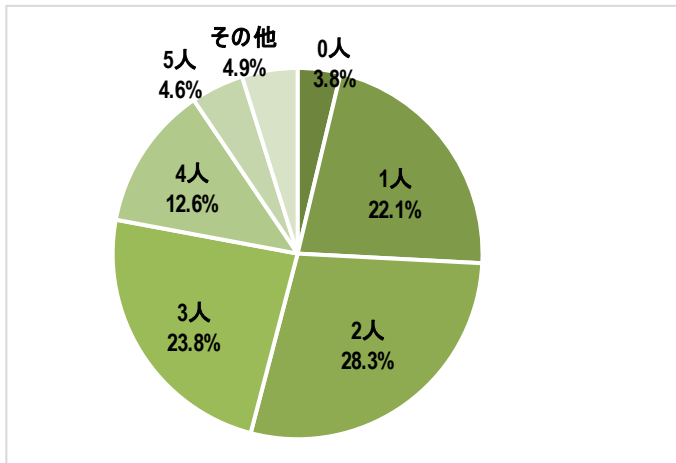
年齢	人数
39歳以下	67
40-49歳	109
50-59歳	189
60-64歳	95
合計	460

問6. がんと診断された時の患者の同居家族について(複数回答可) (n=461)



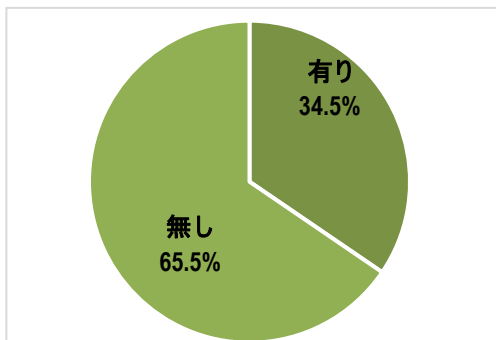
同居家族	人数
配偶者	360
子ども	268
自分の親	94
無し	24
兄弟	18
親戚	2
その他	51

問7. がんと診断された時の患者の同居人数(本人以外) (n=453)



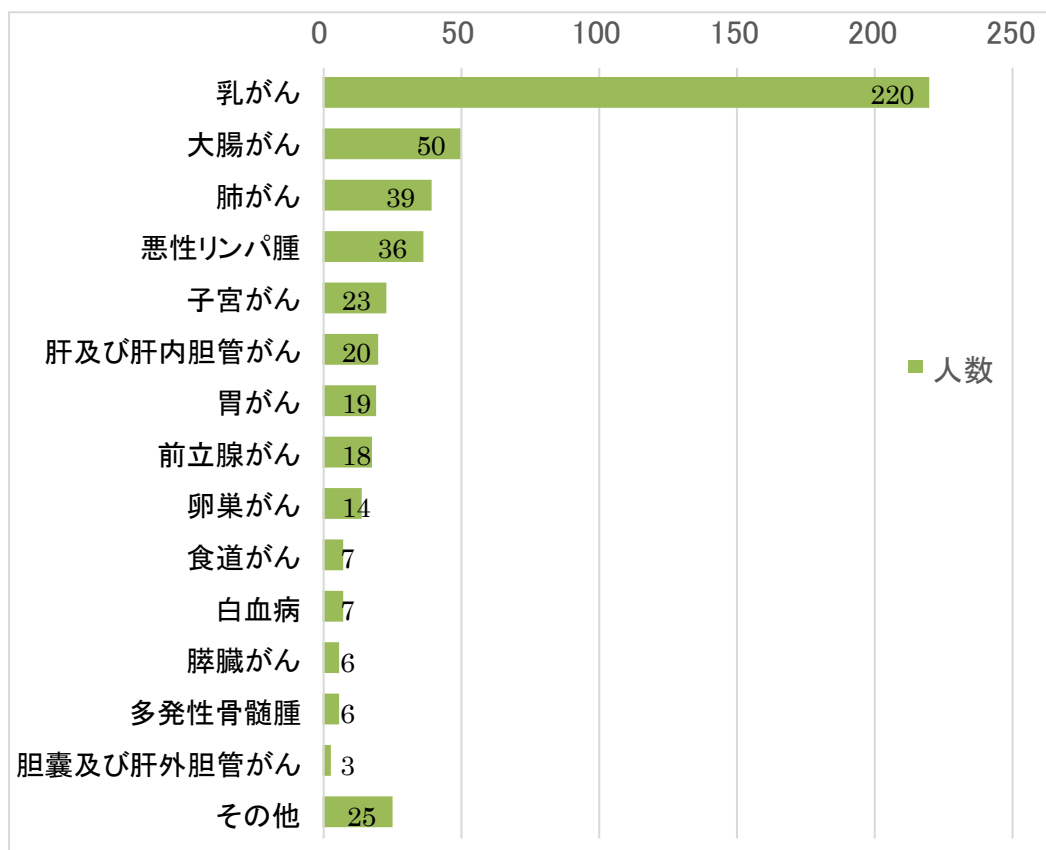
同居人数	人数
0人	17
1人	100
2人	128
3人	108
4人	57
5人	21
6人	16
7人	3
8人	2
10人	1
合計	453

問8. がんと診断された時の扶養家族(患者が生活の面倒をみななければならない家族) (n=455)



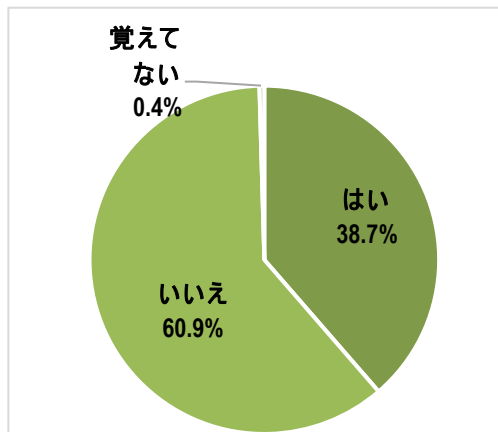
扶養家族	人数
有り	157
無し	298
合計	455

問9. がんの種類(複数回答可)(n=461)



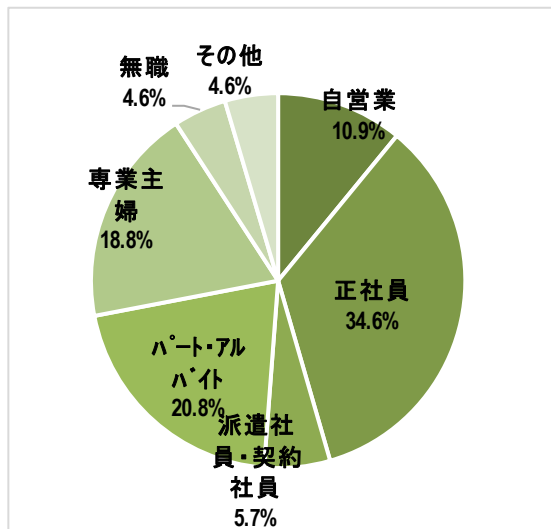
がんの種類	人数
乳がん	220
大腸がん	50
肺がん	39
悪性リンパ腫	36
子宮がん	23
肝及び肝内胆管がん	20
胃がん	19
前立腺がん	18
卵巣がん	14
食道がん	7
白血病	7
膵臓がん	6
多発性骨髄腫	6
胆嚢及び肝外胆管がん	3
その他	25

問10. 転移の有無 (n=445)



転移ありと診断を受けたか？	人数
はい	172
いいえ	271
覚えてない	2
合計	445

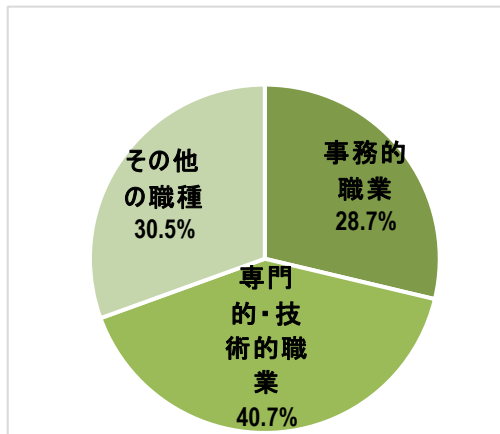
問11. がんと診断された時の患者の職業 (n=457)



職業	人数
自営業	50
正社員	158
派遣社員・契約社員	26
パート・アルバイト	95
専業主婦	86
無職	21
その他	21
合計	457

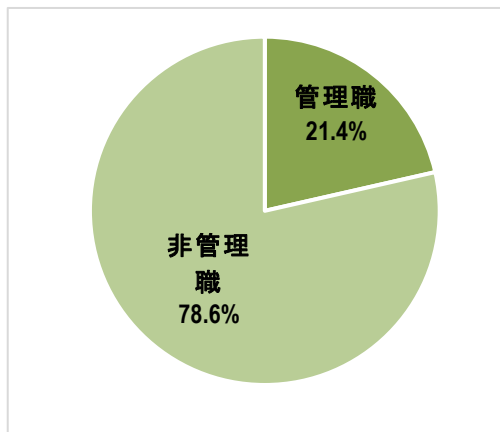
【 問11でがんと診断された時「正社員」「派遣社員・契約社員」「パート・アルバイト」と回答した患者のみが回答 】 (n=279)

問11-1. がんと診断された時の患者の職種 (n=275)



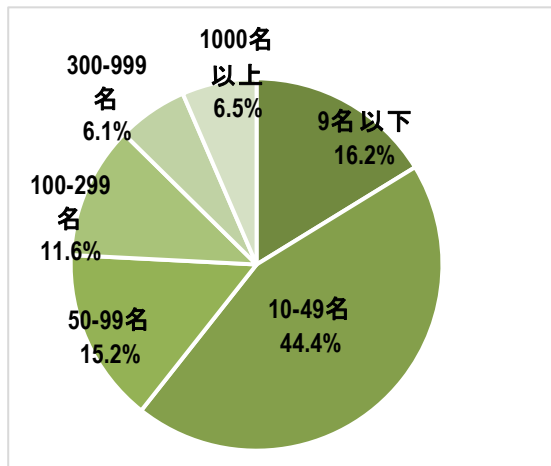
職種	人数
事務的職業	79
専門的・技術的職業	112
その他の職種	84
合計	275

問11-2. がんと診断された時の患者の職位 (n=266)



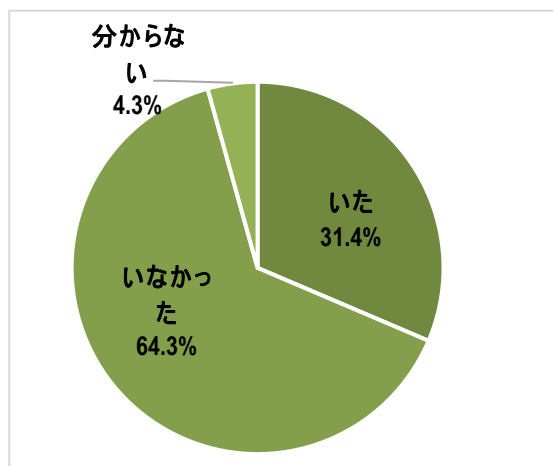
職位	人数
管理職	57
非管理職	209
合計	266

問11-3. がんと診断された時の患者の職場の従業員数 (n=277)



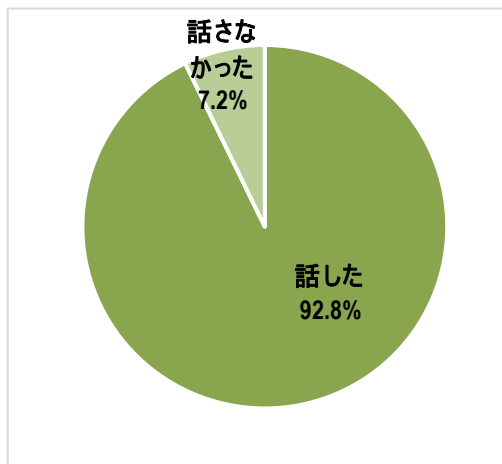
従業員数	人数
9名以下	45
10-49名	123
50-99名	42
100-299名	32
300-999名	17
1000名以上	18
合計	277

問11-4. がんと診断された時の患者の職場の産業医(非常勤含む)の有無 (n=277)



産業医の有無	人数
いた	87
いなかった	178
分からない	12
合計	277

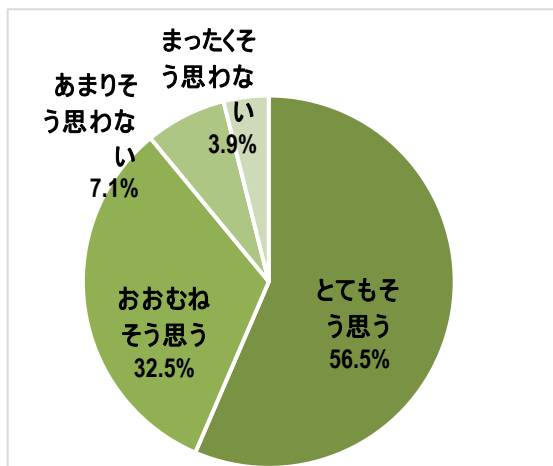
問11-5. がんと診断された時、職場の上司に病状を話したか (n=278)



上司への病状説明	人数
話した	258
話さなかった	20
合計	278

【 問11-5 職場の上司への病状説明について、「話した」と回答した患者のみが回答 】

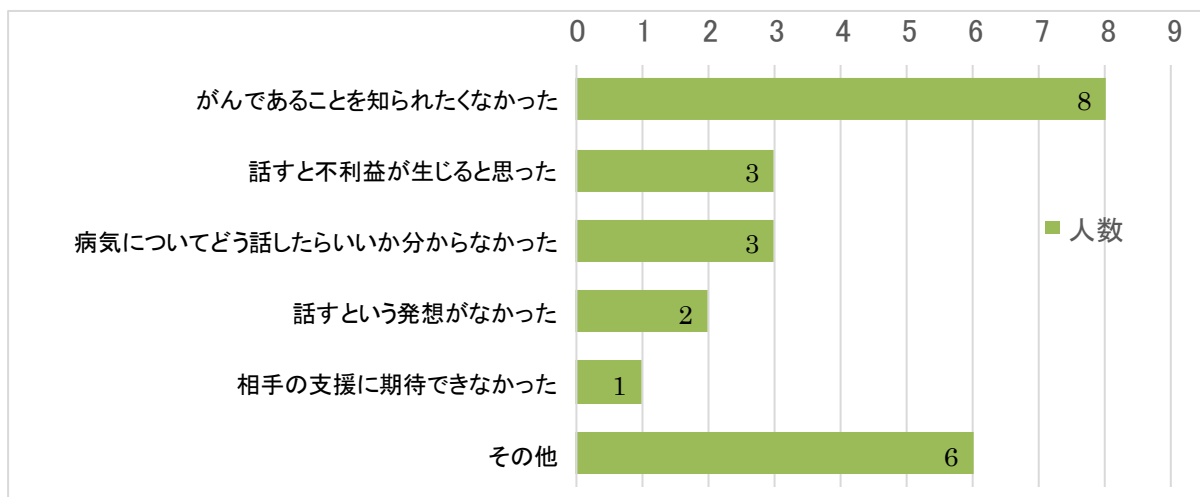
問11-5-1. 職場は治療と就労の両立についての理解があったか (n=255)



治療と就労の両立についての理解	人数
とてもそう思う	144
おおむねそう思う	83
あまりそう思わない	18
まったくそう思わない	10
合計	255

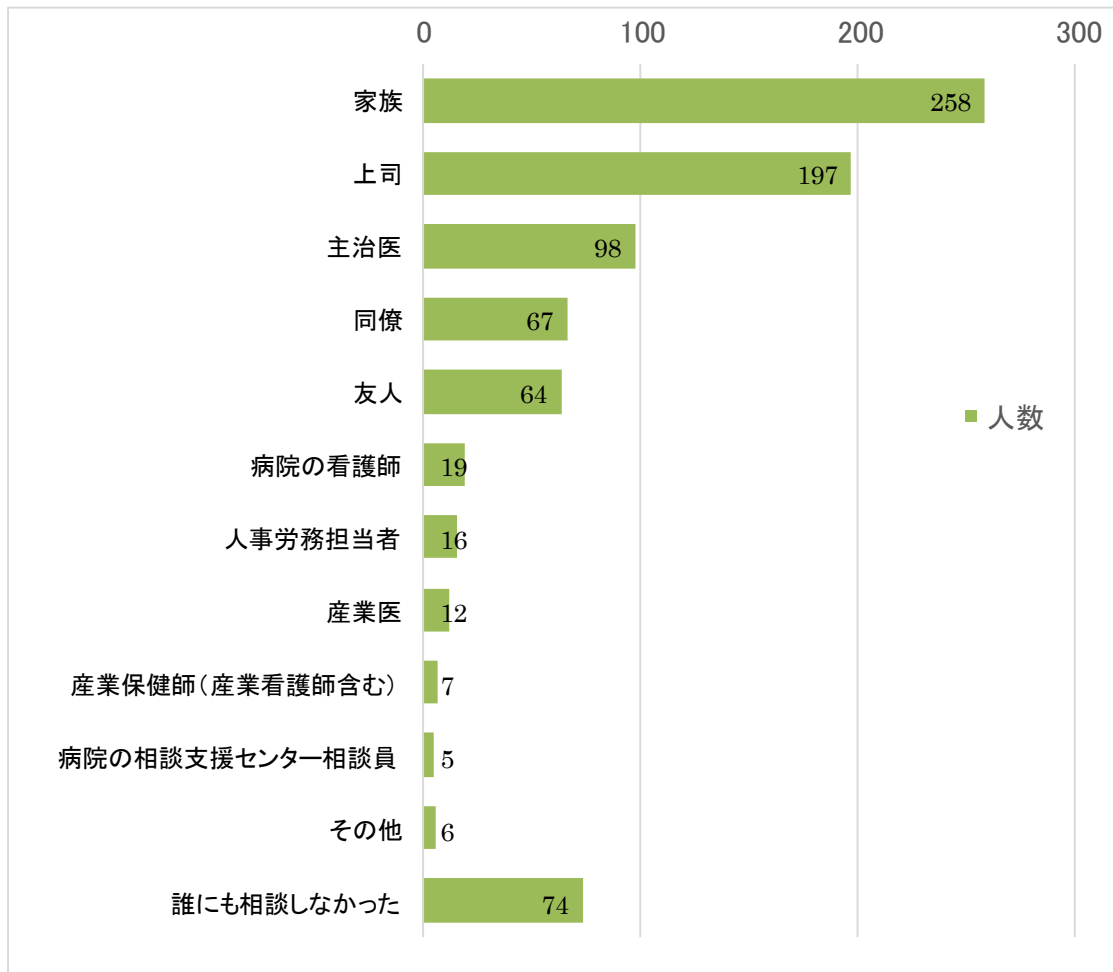
【 問11—5 職場の上司への病状説明について、「話さなかった」と回答した患者のみが回答 】

問11-5-2. 話さなかった理由(複数回答可)



話さなかった理由	人数
がんであることを知られたくなかった	8
話すと不利益が生じると思った	3
病気についてどう話したらいいか分からなかった	3
話すという発想がなかった	2
相手の支援に期待できなかった	1
その他	6

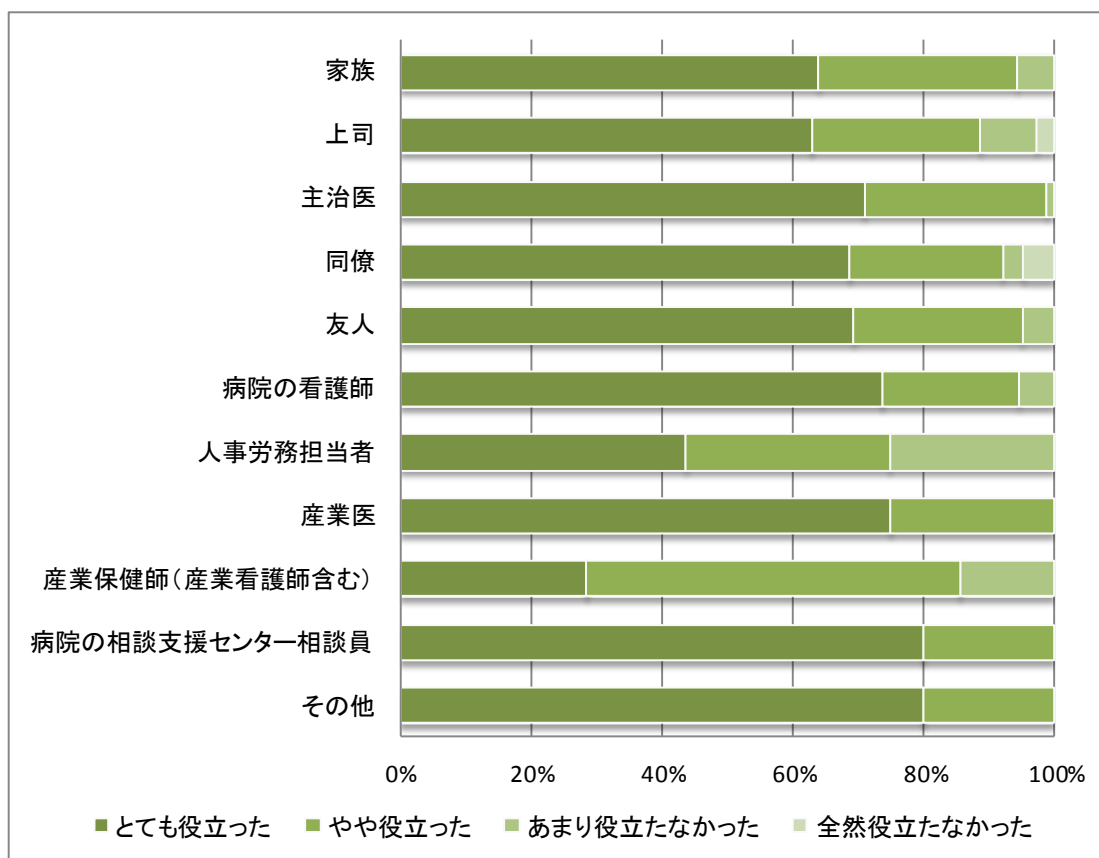
問12. がんと診断された時、就労に関する問題を誰に相談したか(複数回答可)(n=461)



就労に関する問題の 相談相手	人数
家族	258
上司	197
主治医	98
同僚	67
友人	64
病院の看護師	19
人事労務担当者	16
産業医	12
産業保健師(産業看護師含む)	7
病院の相談支援センター相談員	5
その他	6
誰にも相談しなかった	74

【 問12で誰かに相談したことがある患者のみが回答 】

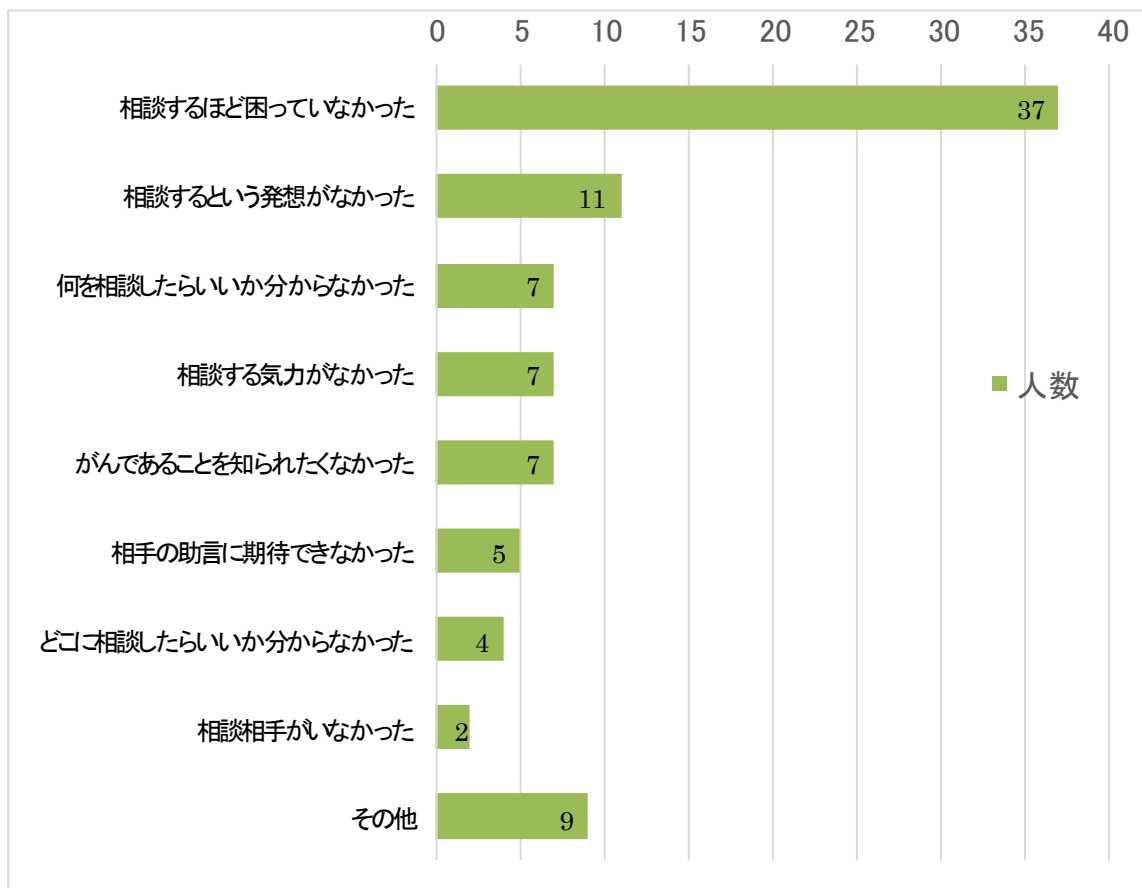
問12-1. 相談して役立ったか(複数回答可)



就労に関する問題の 相談相手	とても 役立った	やや 役立った	あまり 役立たなかった	全然 役立たなかった
家族	162	77	14	0
上司	124	51	17	5
主治医	71	28	1	0
同僚	44	15	2	3
友人	43	16	3	0
病院の看護師	14	4	1	0
人事労務担当者	7	5	4	0
産業医	9	3	0	0
産業保健師 (産業看護師含む)	2	4	1	0
病院の相談支援センター 相談員	4	1	0	0
その他	4	1	0	0

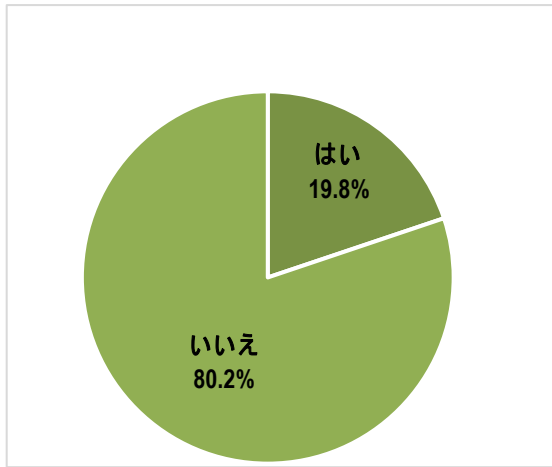
【 問12で「誰にも相談しなかった」と回答した患者のみが回答 】

問12-2. 相談しなかった理由(複数回答可)(n=74)



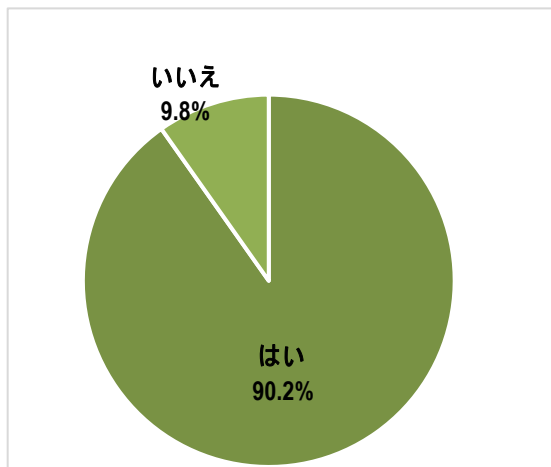
相談しなかった理由	人数
相談するほど困っていなかった	37
相談するという発想がなかった	11
何を相談したらいいか分からなかった	7
相談する気力がなかった	7
がんであることを知られたくなかった	7
相手の助言に期待できなかった	5
どこに相談したらいいか分からなかった	4
相談相手がいなかった	2
その他	9

問13. (患者図書室がある病院において)病院内の患者図書室を利用しましたか (n=257)



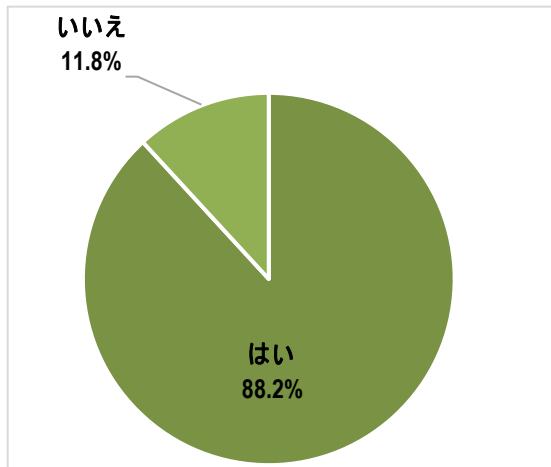
患者図書室を利用したか	人数
はい	51
いいえ	206
合計	257

問13-1. (患者図書室がある病院において)患者図書室は役に立ちましたか (n=51)



患者図書室は役に立ったか	人数
はい	46
いいえ	5
合計	51

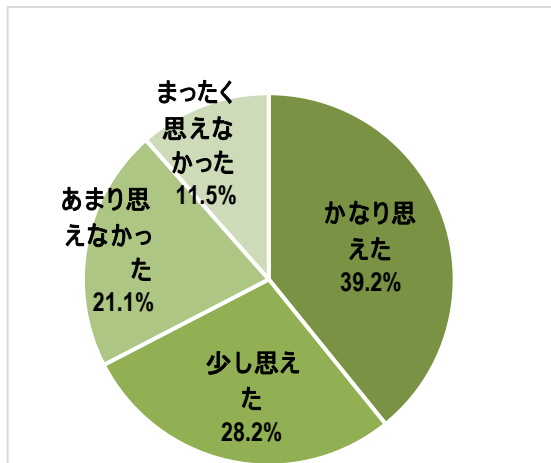
問14. がん治療のために入院したか (n=439)



がん治療のために入院したか	人数
はい	387
いいえ	52
合計	439

【入院患者の退院時の状況】

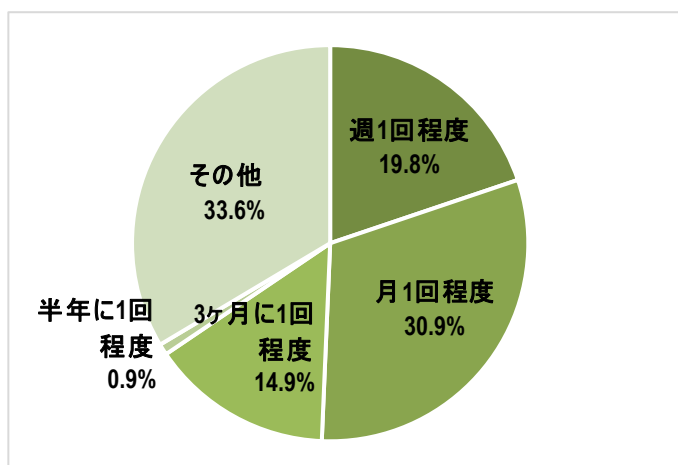
問14-1. 退院時、今後働きつづけられると思えたか (n=365)



退院時、今後働きつづけられると思えたか	人数
かなり思えた	143
少し思えた	103
あまり思えなかった	77
まったく思えなかった	42
合計	365

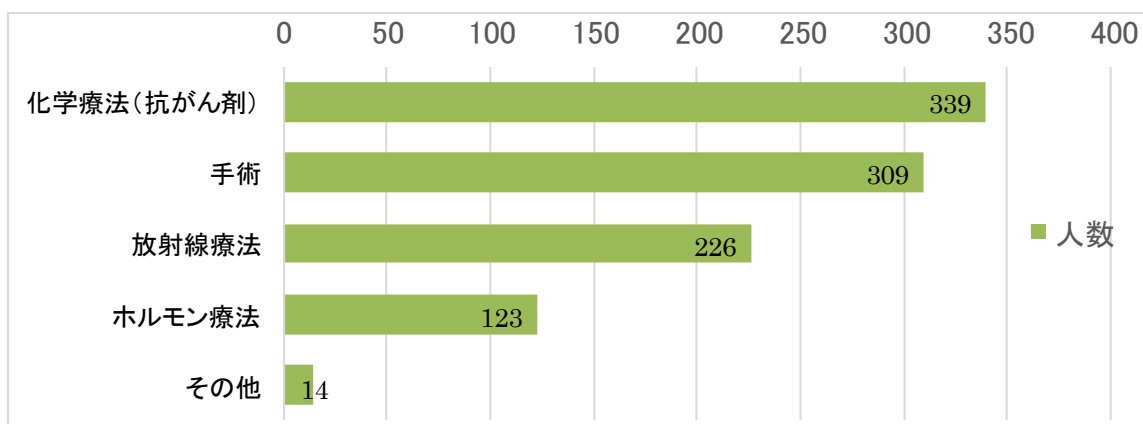
【患者の現在の状況について】

問15. 現在の通院頻度 (n=444)



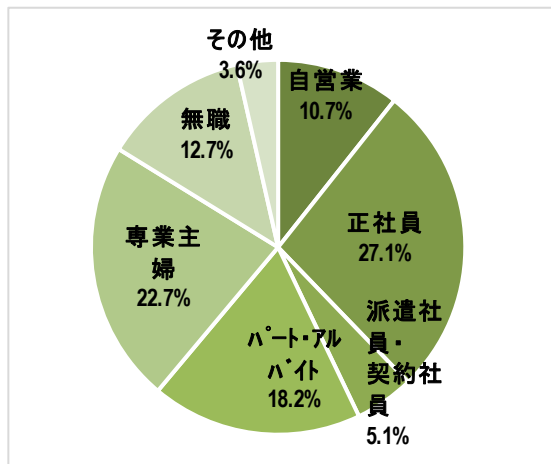
現在の通院頻度	人数
週1回程度	88
月1回程度	137
3ヶ月に1回程度	66
半年に1回程度	4
その他	149
合計	444

問16. がん治療として現在までに受けた治療内容(複数回答可)(n=461)



現在までに受けた治療内容	人数
化学療法(抗がん剤)	339
手術	309
放射線療法	226
ホルモン療法	123
その他	14

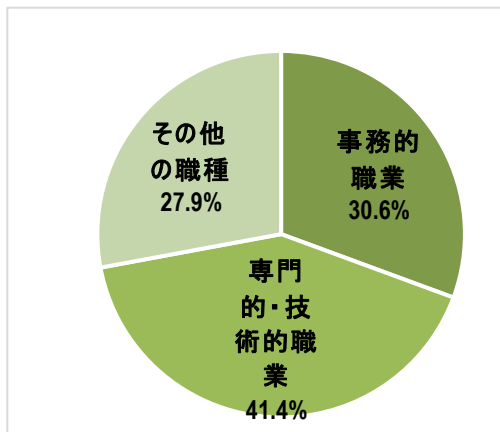
問17. 患者の現在の職業(n=450)



患者の職業	人数
自営業	48
正社員	122
派遣社員・契約社員	23
パート・アルバイト	82
専業主婦	102
無職	57
その他	16
合計	450

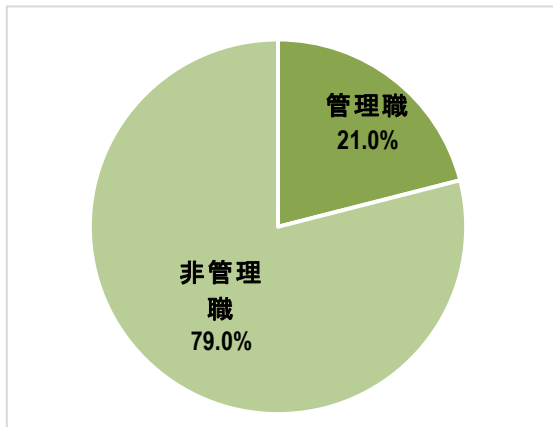
【問17で現在「正社員」「派遣社員・契約社員」「パート・アルバイト」と回答した患者のみが回答】 (n=227)

問17-1 患者の現在の職業に近い職種 (n=222)



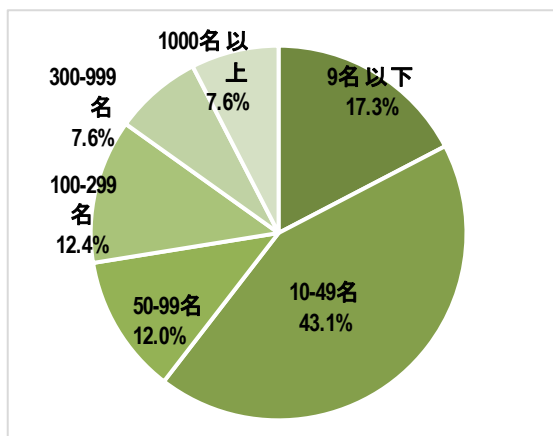
職種	人数
事務的職業	68
専門的・技術的職業	92
その他の職種	62
合計	222

問17-2. 患者の現在の職位 (n=219)



職位	人数
管理職	46
非管理職	173
合計	219

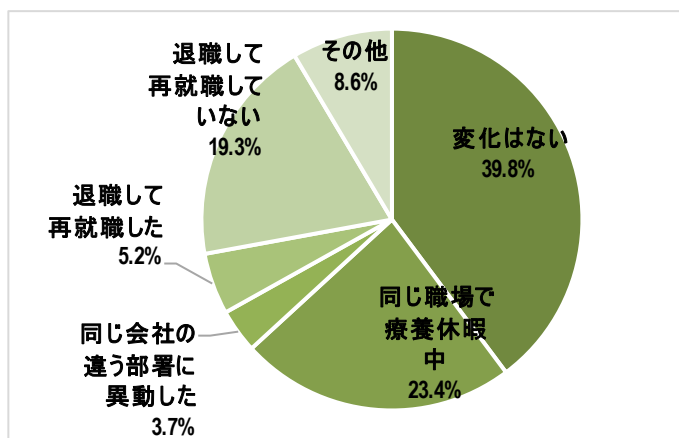
問17-3. 患者の現在の職場の従業員数 (n=225)



従業員数	人数
9名以下	39
10-49名	97
50-99名	27
100-299名	28
300-999名	17
1000名以上	17
合計	225

【 問11でがんと診断された時、「正社員」「派遣社員・契約社員」「パート・アルバイト」と回答した患者のみが回答 】

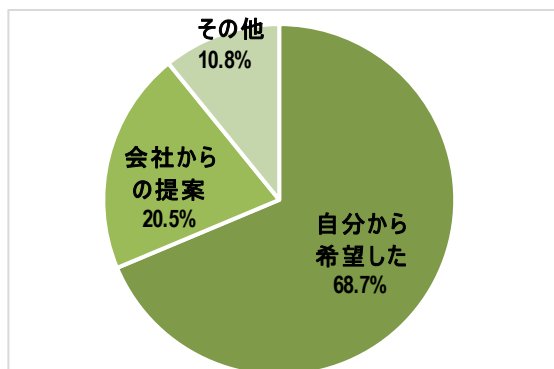
問18. がんと診断された時から現在までの間に、働き方に変化はあったか (n=269)



働き方の変化	人数
変化はない	107
同じ職場で療養休暇中	63
同じ会社の違う部署に異動した	10
退職して再就職した	14
退職して再就職していない	52
その他	23
合計	269

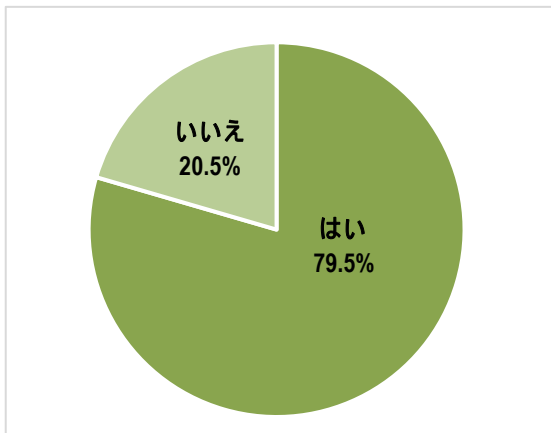
【 問18で「会社を退職した」または「別部署に異動した」と回答した患者が回答 】

問18—1. 退職・異動の経緯 (n=83)



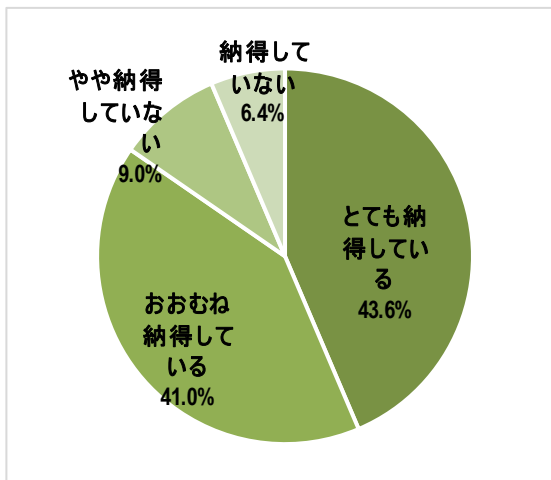
退職・異動の経緯	人数
自分から希望した	57
会社からの提案	17
その他	9
合計	83

問18—2. 退職・異動は病気の影響と思うか (n=83)



退職・異動は病気の影響と思われるか	人数
はい	66
いいえ	17
合計	83

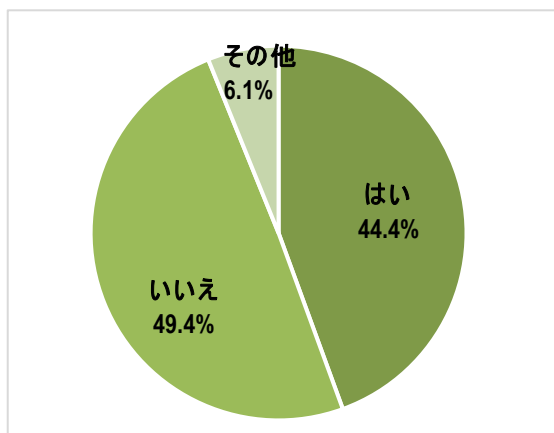
問18—3. 退職・異動について納得しているか (n=78)



退職・異動について納得しているか	人数
とても納得している	34
おおむね納得している	32
やや納得していない	7
納得していない	5
合計	78

【 現在、「専業主婦」「学生」「無職」「その他」の患者のみが回答 】

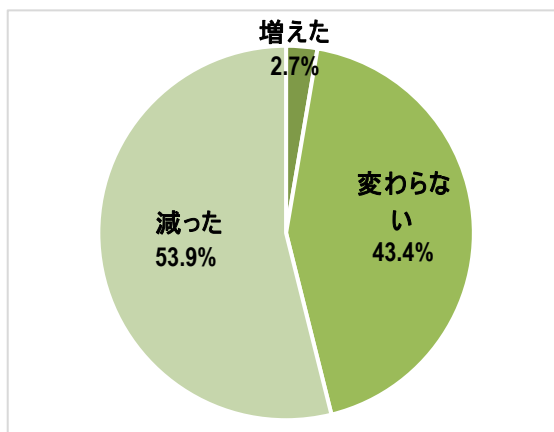
問19. 今後、働きたいと思うか (n=180)



今後は働きたいと思いますか	人数
はい	80
いいえ	89
その他	11
合計	180

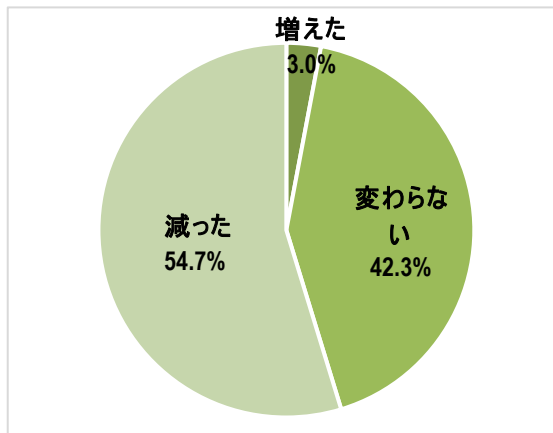
問20. 診断時と比べて、現在の患者個人の収入及び世帯収入に変化はあったか (n=373)

〔患者個人の収入〕



患者個人の収入	人数
増えた	10
変わらない	162
減った	201
合計	373

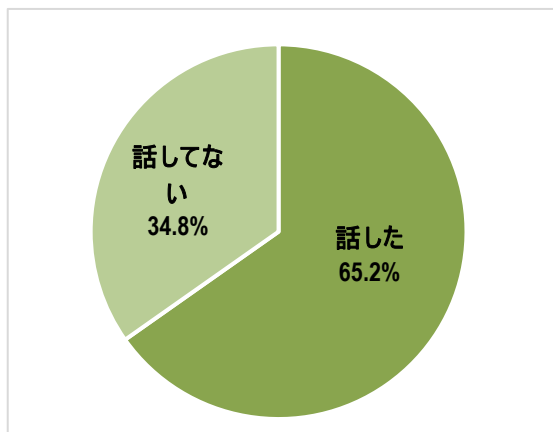
問20. 診断時と比べて、現在の患者個人の収入及び世帯収入に変化はあったか(n=371)
 [世帯収入]



世帯収入	人数
増えた	11
変わらない	157
減った	203
合計	371

【 問18で会社を退職して、再就職した患者のみが回答 】

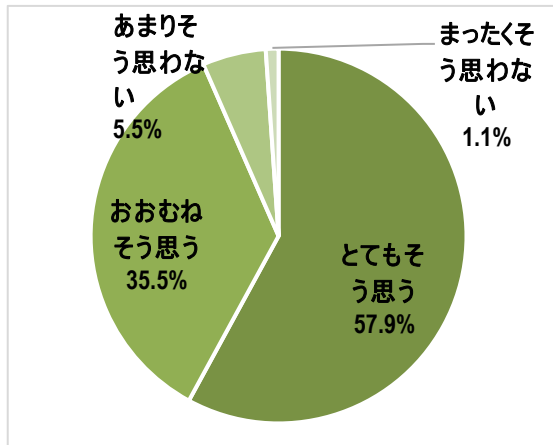
問21. 現在の職場の上司に病気の状態を話したか (n=23)



現在の職場の上司に病気の状態を話したか	人数
話した	15
話してない	8
合計	23

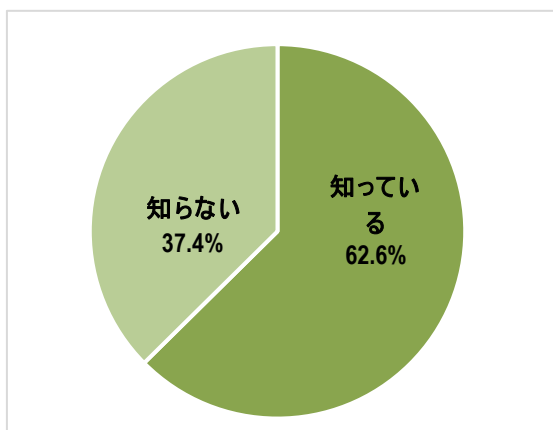
【 現在働いている方で、職場の上司に病気の状態を話している患者のみが回答 】

問22. 現在の職場は治療と就労の両立について理解があるか(n=183)



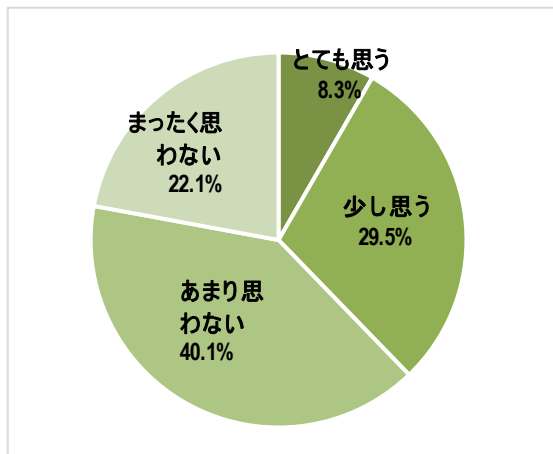
現在の職場は治療と就労の両立について理解があるか	人数
とてもそう思う	106
おおむねそう思う	65
あまりそう思わない	10
まったくそう思わない	2
合計	183

問23. 当病院にがん相談支援センターが設置されているのを知っているか (n=449)



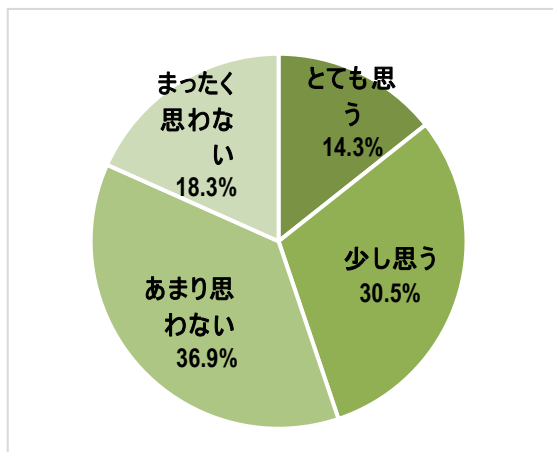
相談支援センターが設置されているのを知っているか	人数
知っている	281
知らない	168
合計	449

問24. 当病院のがん相談支援センターで就労に関する相談をしたいと思うか(n=421)



相談支援センターで就労に関する相談をしたいと思うか	人数
ととも思う	35
少し思う	124
あまり思わない	169
まったく思わない	93
合計	421

問25. 病院内の患者図書室で(病院内に患者図書室があれば), 病気や就労のことについて調べたいと思うか(n=426)



患者図書室で, 病気や就労のことについて調べたいと思うか	人数
ととも思う	61
少し思う	130
あまり思わない	157
まったく思わない	78
合計	426

問26. (自由記述)がんと診断された後の就労・職業生活において、困ったことや悩みについて

(主な意見について記載しております。なお、読みやすいように、内容が変わらない程度に修正してあります。)

<治療の見通しについて>

- ・抗がん剤の副作用について、事前に予測ができなかったため、最初の頃は仕事を休む日を前もって決定できなかった。
- ・具体的なことではなく漠然としたことで、今後きちんと働いていけるのか不安があります。化学療法が始まったばかりなので、強く不安を感じます。

<上司や職場の理解について>

- ・化学療法後、職場に復帰した時に上司が副作用に対する理解がなく、何の配慮もなかったため、自己申告せず無理をしていました。
- ・体調不良や病院の通院の影響を受ける同僚に、相談やご迷惑をかけるのでお願いをしているが、家族に患者がいる方にはすぐ理解を得られるが、理解を得られない方もいるので、悩んでいます。
- ・乳がんで治療中ですが、女性特有のがんなので、上司や周りの職員は男性のため、言いにくい点や理解されないのではないかとと思われることもあり、悩むこともある。
- ・治療日や体調が良くない時に会社を休んでいます。会社は理解はしているが、あまりよくは思っていないようであるのが現実です。
- ・(同じ職場で療養休暇中)今後復職できるのか、復職後、病気になる前と同じように働けないことを理解してもらえなさそうで心配である。
- ・上司や職場の人たちがとても理解してくれる人だったので、具合の悪い時は休ませてくれたりしたので助かりました。まわりが理解あるということが1番大切なんだと思いました。
- ・就労で通院となると、職場と上司の理解が大切だと思った。なお、「理解してくれてる間はよいが」と心配することもある。
- ・職場の人達に「がん」と言うのは抵抗があります。
- ・病気に対するイメージが悪いので、上司や本当に信頼できる同僚以外には知られたくないし、言いたくもない。
- ・周囲の目が完全に病人扱いとなるのが嫌な感じであった。治療することで、健常者と同様ですよという扱いをしてほしい。
- ・今の時代、自分ももしかしたらがんになるかもしれないのですから、そういう気持ちを皆がもてたら、良い職場になるのではと思います。

<働き方や会社の制度について>

- ・半年以上、休職していたので、どのようなペース(勤務時間)で仕事に復帰していったらよいか分からなかった。
- ・以前と同様に扱ってくれるのはとても嬉しいのですが、仕事がつらくても休めないことが悩みです。体力がずっと落ちているので、残業や休日出勤が続くとダメージがすごい。このバランスがと

れるともっと働きやすいのですが。

・手術・化学療法を受けると、どうしても体力が落ち、終日勤務がづらくなった。幸い、私は管理職であり、勤務はある程度裁量に任されていたため、融通が利いたが、一般職であったら、休業せざるを得なかったと思う。

・リンパを取ったことで、腕のひっぱり感や力が上手くはいらず、以前と同じ職種にもどるかは悩んでいる。

・仕事は接客メインなので、髪はほとんどなくウィッグを購入したが、どうしても人の目を気にしてしまいます。

・初期であれば一定期間休んで治療すれば、また働けるようになるんだと実感している。

・このまま今の仕事がつづけられるのか心配していたが、自分が思っていたよりは心配がなかった。

・100%勤務か、半日勤務、隔日勤務、週2~3日勤務など、状況に応じて多様な形式を取れるとよいが、現実には100%または0%との選択が多い。副作用(だるさや吐き気)は訴えづらい。また、休む場所など少ない。

・がんの治療は長くかかるもの。再度通院や追加通院、長期休暇を分けて使える等、休暇の保障の幅がもっとあればと思います。

・職場でどのくらい療養休暇を取るか、復帰まではこのくらいの期間は休んでよいなど、目安となるものがあると、休むことに負い目や遠慮を感じなくて治療できると思う。

・復職前後には産業医との面談がありましたが、その時だけだったので、2ヶ月後、6ヶ月後、1年後くらいまでは面談があると良いと思いました。

・上司には病院に通うため病気の話はしましたが、会社の中のどこまでの方に話さなければいけないのだろうと思いました。

<収入や治療費について>

・治療費を払えるのか心配だった。

・どの程度の期間、費用がかかるのかが見通せずに困った。

・がんと診断されて先ず思ったことは、「仕事はどうなるの？」だった。決して楽ではない現在の生活の中で仕事を辞めてしまっただけでは、この先困る、どうしようと、体のことより仕事のことが気になった。

・抗がん剤の治療中、仕事に行くのが辛かった。働かなければ給料がもらえないから辛いけど休まないようにしていました。病気になると経済的なことが1番問題かと思う。

<本人の気持ちについて>

・自分も業務に多少の支障があるので正直すまないといった気持ちや、いっそ退職をととも考えますが、収入・治療費のことを考えると、退職する訳にはいかないといった複雑な気持ちで、モチベーションが下がっています。

・復職してから、仕事は楽にしてもらえたものの、誰かに迷惑をかけているのではないかと日々悩みました。

・仕事をまかせてもらえなくなり、頼りにされないのではないかというさびしさを感じている。

・仕事ができることは自分の励みにもなり、張り合いが持てます。

・今思うと、ある程度治療後働いていた方が気分的にも良かったのかなと思う。きつい仕事は無理だが、生活面でも、心の面でも必要なのかなと思う。

<再就職について>

- ・再就職した場合に病気のことを上司に話すべきかどうか、悩んでしまう。
- ・面談で病気のことを正直に話した方が良いかどうか、迷うところです。

V. 参考資料

「がん患者の就労に関するアンケート調査」へのご協力をお願い

がんは、一生のうちに日本人の2人に1人がかかる病であり、決して特別な病気ではなくなってきました。また、医療技術の進歩や新薬の開発等に伴い、がん患者の生存率は伸びています。このような中、がん患者について、生活者としての視点で見た場合に治療と就労の両立が課題となってきました。

そのため、茨城県では、がん患者の就労に関する実態や問題点、要望について把握し、本県のがん患者の就労支援の施策等を検討するために、アンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、調査の主旨をご理解いただき、今回の調査へのご協力をよろしくお願いたします。なお、本調査票の返送を以て、本調査への参加に同意していただいたとして取り扱わせていただきますので、ご了承のほどお願いたします。

平成 26 年 3 月
茨 城 県

※ この調査依頼につきましては、県内の4つの病院（県地域がんセンター）において、通院治療しているがん患者の方に対して、病院の医師や看護師等から配付しております。

- このアンケート結果は、がん患者の就労支援の施策の検討やその基礎資料として、活用させていただきます。
- もし、お答えにくい質問項目がある場合は、無理にお答えいただかなくてもかまいません。
- この調査に協力しない場合でも、何ら不利な扱いを受けることはありません。
- ご不明な点やご質問がありましたら、下記お問合せ先にご連絡をお願いします。

(調査対象病院)

【該当病院名を記載】

(お問合せ先)

茨城県保健福祉部保健予防課 総合がん対策グループ

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978-6

TEL 029-301-3224

FAX 029-301-3239

E-mail yobo2@pref.ibaraki.lg.jp

【個人情報の取り扱い】

- この調査では、お名前など個人を特定するような質問は含まれておりません。
 - 調査結果は、がん患者の就労支援施策の検討や学術研究目的のみに使用することとし、プライバシーに関わる情報が外部に出ることはありません。
-

【アンケート調査票のご記入方法】

- 20歳以上、65歳未満の方が対象です。
 - アンケートの回答・返送は無記名でお願いします。
 - ご記入は、このアンケート用紙に直接お願いします。
 - ご回答は、該当する番号を○で囲んでください。複数回答の場合は、設問の後に記載しています。
 - カッコ書き（ ）や自由記述欄は、具体的に記載してください。
 - 個人を特定する住所、氏名等はアンケート用紙、返信用封筒とも記入しないで下さい。
-

調査票は、同封の返信用封筒で、調査票を配付された後、2週間以内に切手を貼らずに郵便ポストへご投函ください。

ご多忙とは存じますが、調査にご理解とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

I 【あなたご自身についておうかがいします】

○問1 あなたの性別はどちらですか。

1 男性 2 女性

○問2 あなたの現在の年齢は何歳ですか。〈調査回答日時点〉

(歳)

○問3 あなたの現在の婚姻状況は次のどちらになりますか。

1 未婚 2 既婚 3 離婚 4 死別

○問4 あなたは患者会に入っていますか。

1 入っている 2 入っていない

II 【がんと診断された時の状況についておうかがいします】

○問5 あなたの年齢は何歳でしたか。〈覚えていない時は概ねの年齢でかまいません。〉

(歳)

○問6 あなたの同居家族は次のどちらになりますか。〈複数回答可〉

1 無し 2 配偶者 3 自分の親 4 子ども
5 兄弟 6 親戚 7 その他 ()

○問7 あなたと同居していた人数は何人でしたか。〈本人以外〉

(人)

○問8 扶養家族（あなたが生活の面倒をみななければならない家族）はいましたか。

1 有り 2 無し

○問9 がんの種類はどこでしたか。〈複数回答可〉

1 胃がん 2 大腸がん 3 肺がん 4 乳がん
5 肝及び肝内胆管がん 6 前立腺がん 7 膵臓がん 8 胆嚢及び肝外胆管がん
9 子宮がん 10 膀胱がん 11 悪性リンパ腫 12 食道がん
13 腎・尿路がん 14 口腔・咽頭がん 15 白血病 16 卵巣がん
17 皮膚がん 18 甲状腺がん 19 多発性骨髄腫 20 喉頭がん
21 その他 ()

○問10 転移があると診断を受けましたか。

1 はい 2 いいえ 3 覚えていない

○問 11 あなたの職業は何でしたか。

- | | | | |
|--------|-------|-------------|-------------|
| 1 自営業 | 2 正社員 | 3 派遣社員・契約社員 | 4 パート・アルバイト |
| 5 専業主婦 | 6 学生 | 7 無職 | 8 その他() |

問 11 で 2 正社員, 3 派遣社員・契約社員, 4 パート・アルバイトに○をつけた方は, 下記の問いにお答えください。それ以外に○をつけた方は, 問 12 にお進みください。

○問 11-1 職業について近い職種を選んでください。

- | | | |
|---------|-------------|--------------|
| 1 事務的職業 | 2 専門的・技術的職業 | 3 その他の職種 () |
|---------|-------------|--------------|

○問 11-2 職位はどちらですか。

- | | |
|-------|--------|
| 1 管理職 | 2 非管理職 |
|-------|--------|

○問 11-3 職場ではおよそ何人が働いていましたか。

- | | | | |
|--------------|-------------|------------|--------------|
| 1 (9名以下) | 2 (10~49名) | 3 (50~99名) | 4 (100~299名) |
| 5 (300~999名) | 6 (1000名以上) | | |

○問 11-4 職場に産業医(非常勤を含む)はいましたか。

- | | | |
|------|---------|---------|
| 1 いた | 2 いなかった | 3 分からない |
|------|---------|---------|

○問 11-5 職場の上司に病気の状態について話しましたか。

- | | |
|-------|----------|
| 1 話した | 2 話さなかった |
|-------|----------|

○問 11-5-1 (問 11-5 で職場の上司に話した方のみお答え下さい。)

診断時の職場は治療と就労の両立について理解がありましたか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 とてもそう思う | 2 おおむねそう思う |
| 3 あまりそう思わない | 4 まったくそう思わない |

○問 11-5-2 (問 11-5 で職場の上司に話さなかった方のみお答え下さい。)

話さなかった理由は何ですか。〈複数回答可〉

- | |
|--------------------------|
| 1 話すほど困っていなかった |
| 2 話すという発想がなかった |
| 3 相手の支援に期待できなかった |
| 4 話すとは不利益が生じると思った |
| 5 病気についてどう話したらいいか分からなかった |
| 6 話す気力がなかった |
| 7 がんであることを知られたくなかった |
| 8 その他 () |

○問 12 就労に関する問題について、誰に相談しましたか。〈複数回答可〉

1 誰にも相談しなかった	2 上司	3 家族	4 主治医
5 友人	6 患者会	7 人事労務担当者	8 同僚
9 産業医	10 産業保健師(産業看護師含む)	11 病院のソーシャルワーカー	
12 病院の看護師	13 病院の相談支援センター相談員	14 その他 ()	

○問 12-1 (問 12 で誰かに相談したことがある方のみお答え下さい。)

相談して役立ちましたか。〈相談した相手ごとにお答え下さい〉

・上司	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・家族	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・主治医	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・友人	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・患者会	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・人事労務担当者	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・同僚	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・産業医	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・産業保健師 (産 業看護師含む)	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・病院のソーシ ヤルワーカー	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・病院の看護師	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・病院の相談支援 センター相談員	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・その他	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった

○問 12-2 (問 12 で誰にも相談しなかった方のみお答え下さい。)

相談しなかった理由は何ですか。〈複数回答可〉

1 相談するほど困っていなかった
2 相談するという発想がなかった
3 相談相手がいなかった
4 相手の助言に期待できなかった
5 相談すると不利益が生じると思った
6 何を相談したらいいか分からなかった
7 どこに相談したらいいか分からなかった
8 相談する気力がなかった
9 がんであることを知られたくなかった
10 その他 ()

○問 13 がん治療のために入院しましたか。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

Ⅲ【入院した方について，退院時の状況についておうかがいします】

○問 13-1 退院時に，今後働きつづけられると思えましたか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 かなり思えた | 2 少し思えた |
| 3 あまり思えなかった | 4 まったく思えなかった |

Ⅳ【あなたの現在の状況についておうかがいします】

○問 14 現在の通院頻度は次のどちらに当たりますか。

- | | | | |
|-----------|-------------|--------------|-------------|
| 1 (週1回程度) | 2 (月1回程度) | 3 (3ヶ月に1回程度) | 4 (半年に1回程度) |
| 5 (年1回程度) | 6 (通院していない) | 7 その他 () | |

○問 15 がん治療として現在までに受けた治療内容は何ですか。〈複数回答可〉

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 手術 | 2 化学療法 (抗がん剤) |
| 3 放射線療法 | 4 ホルモン療法 |
| 5 その他 () | |

○問 16 あなたの職業は何ですか。

- | | | | |
|--------|-------|-------------|-------------|
| 1 自営業 | 2 正社員 | 3 派遣社員・契約社員 | 4 パート・アルバイト |
| 5 専業主婦 | 6 学生 | 7 無職 | 8 その他 () |

問 16 で 2 正社員， 3 派遣社員・契約社員， 4 パート・アルバイトに○をつけた方は，下記の問いにお答えください。それ以外に○をつけた方は，問 18 にお進みください。

○問 16-1 職業について近い職種を選んでください。

- | | | |
|---------|-------------|--------------|
| 1 事務的職業 | 2 専門的・技術的職業 | 3 その他の職種 () |
|---------|-------------|--------------|

○問 16-2 職位はどちらですか。

- | | |
|-------|--------|
| 1 管理職 | 2 非管理職 |
|-------|--------|

○問 16-3 職場ではおよそ何人が働いていますか。

- | | | | |
|--------------|-------------|------------|--------------|
| 1 (9名以下) | 2 (10～49名) | 3 (50～99名) | 4 (100～299名) |
| 5 (300～999名) | 6 (1000名以上) | | |

○問 17 (問 11 でがんと診断された時に、2 正社員、3 派遣社員・契約社員、4 パート・アルバイトであった方のみお答え下さい。)

現在までの間に、働き方に変化はありましたか。

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 変化はない | 2 同じ職場で療養休暇中 |
| 3 同じ会社の違う部署に異動した | 4 退職して再就職した |
| 5 退職して再就職していない | 6 その他 () |

問 17 で会社を退職した、または別部署に異動した方は、下記の問いにお答えください。それ以外の方は、問 18 にお進みください

○問 17-1 退職・異動はどのような経緯で決まりましたか。

- | | |
|------------|-----------|
| 1 自分から希望した | 2 会社からの提案 |
| 3 その他 () | |

○問 17-2 退職・異動は病気の影響だと思えますか。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

○問 17-3 退職・異動についてどれくらい納得していますか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 とても納得している | 2 おおむね納得している |
| 3 やや納得していない | 4 納得していない |

○問 18 (現在、専業主婦、学生、無職、その他の方のみお答え下さい。)

今後は働きたいと思えますか。

- | | | |
|------|-------|-----------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 その他 () |
|------|-------|-----------|

○問 19 診断時と比べて、現在のあなたの収入、及び世帯収入に変化はありましたか。

[あなた個人の収入]

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1 増えた | 2 変わらない | 3 減った |
|-------|---------|-------|

[世帯収入]

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1 増えた | 2 変わらない | 3 減った |
|-------|---------|-------|

○問 20 (問 17 で会社を退職して、再就職した方のみお答え下さい。)

現在の職場の上司に病気の状態について話しましたか。

- | | |
|-------|----------|
| 1 話した | 2 話していない |
|-------|----------|

○問 21 (現在働いている方で、職場の上司に病気の状態について話している方のみお答え下さい。)

現在の職場は治療と就労の両立について理解がありますか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 とてもそう思う | 2 おおむねそう思う |
| 3 あまりそう思わない | 4 まったくそう思わない |

○問 22 当院ではがん相談支援センターを設置しているのを知っていますか。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

○問 23 当院のがん相談支援センターで就労に関する相談をしたいと思えますか。

- | | |
|-----------|------------|
| 1 とても思う | 2 少し思う |
| 3 あまり思わない | 4 まったく思わない |

○問 24 病院内に患者図書室（患者さんやご家族向けに設置された図書室や図書コーナー）があれば、病気や就労のことについて調べたいと思えますか。

- | | |
|-----------|------------|
| 1 とても思う | 2 少し思う |
| 3 あまり思わない | 4 まったく思わない |

自由記述でおうかがいします。

○問 25 がんと診断された後の就労・職業生活において、困ったことや悩みについて記載してください。

I 【あなたご自身についておうかがいします】

○問1 あなたの性別はどちらですか。

1 男性 2 女性

○問2 あなたの現在の年齢は何歳ですか。〈調査回答日時点〉

(歳)

○問3 あなたの現在の婚姻状況は次のどちらになりますか。

1 未婚 2 既婚 3 離婚 4 死別

○問4 あなたは患者会に入っていますか。

1 入っている 2 入っていない

II 【がんと診断された時の状況についておうかがいします】

○問5 あなたの年齢は何歳でしたか。〈覚えていない時は概ねの年齢でかまいません。〉

(歳)

○問6 あなたの同居家族は次のどちらになりますか。〈複数回答可〉

1 無し 2 配偶者 3 自分の親 4 子ども
5 兄弟 6 親戚 7 その他 ()

○問7 あなたと同居していた人数は何人でしたか。〈本人以外〉

(人)

○問8 扶養家族（あなたが生活の面倒をみななければならない家族）はいましたか。

1 有り 2 無し

○問9 がんの種類はどこでしたか。〈複数回答可〉

1 胃がん 2 大腸がん 3 肺がん 4 乳がん
5 肝及び肝内胆管がん 6 前立腺がん 7 膵臓がん 8 胆嚢及び肝外胆管がん
9 子宮がん 10 膀胱がん 11 悪性リンパ腫 12 食道がん
13 腎・尿路がん 14 口腔・咽頭がん 15 白血病 16 卵巣がん
17 皮膚がん 18 甲状腺がん 19 多発性骨髄腫 20 喉頭がん
21 その他 ()

○問10 転移があると診断を受けましたか。

1 はい 2 いいえ 3 覚えていない

○問 11 あなたの職業は何でしたか。

- | | | | |
|--------|-------|-------------|-------------|
| 1 自営業 | 2 正社員 | 3 派遣社員・契約社員 | 4 パート・アルバイト |
| 5 専業主婦 | 6 学生 | 7 無職 | 8 その他() |

問 11 で 2 正社員, 3 派遣社員・契約社員, 4 パート・アルバイトに○をつけた方は, 下記の問いにお答えください。それ以外に○をつけた方は, 問 12 にお進みください。

○問 11-1 職業について近い職種を選んでください。

- | | | |
|---------|-------------|--------------|
| 1 事務的職業 | 2 専門的・技術的職業 | 3 その他の職種 () |
|---------|-------------|--------------|

○問 11-2 職位はどちらですか。

- | | |
|-------|--------|
| 1 管理職 | 2 非管理職 |
|-------|--------|

○問 11-3 職場ではおよそ何人が働いていましたか。

- | | | | |
|--------------|-------------|------------|--------------|
| 1 (9名以下) | 2 (10~49名) | 3 (50~99名) | 4 (100~299名) |
| 5 (300~999名) | 6 (1000名以上) | | |

○問 11-4 職場に産業医(非常勤を含む)はいましたか。

- | | | |
|------|---------|---------|
| 1 いた | 2 いなかった | 3 分からない |
|------|---------|---------|

○問 11-5 職場の上司に病気の状態について話しましたか。

- | | |
|-------|----------|
| 1 話した | 2 話さなかった |
|-------|----------|

○問 11-5-1 (問 11-5 で職場の上司に話した方のみお答え下さい。)

診断時の職場は治療と就労の両立について理解がありましたか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 とてもそう思う | 2 おおむねそう思う |
| 3 あまりそう思わない | 4 まったくそう思わない |

○問 11-5-2 (問 11-5 で職場の上司に話さなかった方のみお答え下さい。)

話さなかった理由は何ですか。〈複数回答可〉

- | |
|--------------------------|
| 1 話すほど困っていなかった |
| 2 話すという発想がなかった |
| 3 相手の支援に期待できなかった |
| 4 話すとは不利益が生じると思った |
| 5 病気についてどう話したらいいか分からなかった |
| 6 話す気力がなかった |
| 7 がんであることを知られたくなかった |
| 8 その他 () |

○問 12 就労に関する問題について、誰に相談しましたか。〈複数回答可〉

1 誰にも相談しなかった	2 上司	3 家族	4 主治医
5 友人	6 患者会	7 人事労務担当者	8 同僚
9 産業医	10 産業保健師(産業看護師含む)	11 病院のソーシャルワーカー	
12 病院の看護師	13 病院の相談支援センター相談員	14 その他 ()	

○問 12-1 (問 12 で誰かに相談したことがある方のみお答え下さい。)

相談して役立ちましたか。〈相談した相手ごとにお答え下さい〉

・上司	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・家族	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・主治医	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・友人	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・患者会	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・人事労務担当者	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・同僚	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・産業医	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・産業保健師(産業看護師含む)	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・病院のソーシャルワーカー	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・病院の看護師	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・病院の相談支援センター相談員	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった
・その他	1 とても役だった	2 やや役だった	3 あまり役立たなかった	4 全然役立たなかった

○問 12-2 (問 12 で誰にも相談しなかった方のみお答え下さい。)

相談しなかった理由は何ですか。〈複数回答可〉

1 相談するほど困っていなかった
2 相談するという発想がなかった
3 相談相手がいなかった
4 相手の助言に期待できなかった
5 相談すると不利益が生じると思った
6 何を相談したらいいか分からなかった
7 どこに相談したらいいか分からなかった
8 相談する気力がなかった
9 がんであることを知られたくなかった
10 その他 ()

○問 13 診断されたあとに、病気や就労のことを調べるために病院内の患者図書室(患者さんやご家族向けに設置された図書室や図書コーナー)を利用しましたか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

○問 13-1 (問 13 で病院内の患者図書室を利用した方のみお答え下さい。)

患者図書室は役に立ちましたか。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

○問 14 がん治療のために入院しましたか。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

Ⅲ【入院した方について、退院時の状況についておうかがいします】

○問 14-1 退院時に、今後働きつづけられると思えましたか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 かなり思えた | 2 少し思えた |
| 3 あまり思えなかった | 4 まったく思えなかった |

Ⅳ【あなたの現在の状況についておうかがいします】

○問 15 現在の通院頻度は次のどちらに当たりますか。

- | | | | |
|-----------|-------------|--------------|-------------|
| 1 (週1回程度) | 2 (月1回程度) | 3 (3ヶ月に1回程度) | 4 (半年に1回程度) |
| 5 (年1回程度) | 6 (通院していない) | 7 その他 () | |

○問 16 がん治療として現在までに受けた治療内容は何ですか。〈複数回答可〉

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 手術 | 2 化学療法 (抗がん剤) |
| 3 放射線療法 | 4 ホルモン療法 |
| 5 その他 () | |

○問 17 あなたの職業は何ですか。

- | | | | |
|--------|-------|-------------|-------------|
| 1 自営業 | 2 正社員 | 3 派遣社員・契約社員 | 4 パート・アルバイト |
| 5 専業主婦 | 6 学生 | 7 無職 | 8 その他 () |

問 17 で 2 正社員、3 派遣社員・契約社員、4 パート・アルバイトに○をつけた方は、下記の問いにお答えください。それ以外に○をつけた方は、問 18 にお進みください。

○問 17-1 職業について近い職種を選んでください。

- | | | |
|---------|-------------|--------------|
| 1 事務的職業 | 2 専門的・技術的職業 | 3 その他の職種 () |
|---------|-------------|--------------|

○問 17-2 職位はどちらですか。

- | | |
|-------|--------|
| 1 管理職 | 2 非管理職 |
|-------|--------|

○問 17-3 職場ではおよそ何人が働いていますか。

- | | | | |
|--------------|-------------|------------|--------------|
| 1 (9名以下) | 2 (10~49名) | 3 (50~99名) | 4 (100~299名) |
| 5 (300~999名) | 6 (1000名以上) | | |

○問 18 (問 11 でがんと診断された時に、2 正社員、3 派遣社員・契約社員、4 パート・アルバイトであった方のみお答え下さい。)

現在までの間に、働き方に変化はありましたか。

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 変化はない | 2 同じ職場で療養休暇中 |
| 3 同じ会社の違う部署に異動した | 4 退職して再就職した |
| 5 退職して再就職していない | 6 その他 () |

問 18 で会社を退職した、または別部署に異動した方は、下記の問いにお答えください。それ以外の方は、問 19 にお進みください

○問 18-1 退職・異動はどのような経緯で決まりましたか。

- | | |
|------------|-----------|
| 1 自分から希望した | 2 会社からの提案 |
| 3 その他 () | |

○問 18-2 退職・異動は病気の影響だと思えますか。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

○問 18-3 退職・異動についてどれくらい納得していますか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 とても納得している | 2 おおむね納得している |
| 3 やや納得していない | 4 納得していない |

○問 19 (現在、専業主婦、学生、無職、その他の方のみお答え下さい。)

今後は働きたいと思えますか。

- | | | |
|------|-------|-----------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 その他 () |
|------|-------|-----------|

○問 20 診断時と比べて、現在のあなたの収入、及び世帯収入に変化はありましたか。

[あなた個人の収入]

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1 増えた | 2 変わらない | 3 減った |
|-------|---------|-------|

[世帯収入]

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1 増えた | 2 変わらない | 3 減った |
|-------|---------|-------|

○問 21 (問 18 で会社を退職して、再就職した方のみお答え下さい。)

現在の職場の上司に病気の状態について話しましたか。

- | | |
|-------|----------|
| 1 話した | 2 話していない |
|-------|----------|

○問 22 (現在働いている方で、職場の上司に病気の状態について話している方のみお答え下さい。)

現在の職場は治療と就労の両立について理解がありますか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 とてもそう思う | 2 おおむねそう思う |
| 3 あまりそう思わない | 4 まったくそう思わない |

○問 23 当院ではがん相談支援センターを設置しているのを知っていますか。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

○問 24 当院のがん相談支援センターで就労に関する相談をしたいと思いませんか。

- | | |
|-----------|------------|
| 1 とても思う | 2 少し思う |
| 3 あまり思わない | 4 まったく思わない |

○問 25 病院内の患者図書室で就労について調べたいと思いませんか。

- | | |
|-----------|------------|
| 1 とても思う | 2 少し思う |
| 3 あまり思わない | 4 まったく思わない |

自由記述でおうかがいします。

○問 26 がんと診断された後の就労・職業生活において、困ったことや悩みについて記載してください。